

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報入門1 データサイエンス入門	2	○	○	○	○						
情報入門2	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2、3回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目)
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「情報入門1」(3回目)「データサイエンス入門」(3回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目)
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がりに(生産、消費、文化活動など)「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「データサイエンス入門」(3回目)
(3) 様々なデータ活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「情報入門1」(2回目)「データサイエンス入門」(2回目) ・マルチモーダル(言語、画像、音声など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)「データサイエンス入門」(3回目)
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「情報入門1」(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介「情報入門1」(3回目)「データサイエンス入門」(3回目)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【リテラシーレベル】

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> • ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • データバイアス、アルゴリズムバイアス【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • 生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)【データサイエンス入門】(3回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性【情報入門1】(3回目)「データサイエンス入門」(3回目) • 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介【情報入門1】(4回目)「データサイエンス入門」(1回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> • データの種類(量的変数、質的変数)【情報入門2】(4回目) • データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)【情報入門1】(6回目)「情報入門2」(2回目)「データサイエンス入門」(6回目) • 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)【情報入門2】(2回目) • データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)【情報入門2】(2回目) • 観測データに含まれる誤差の扱い【情報入門2】(4回目) • 打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ【情報入門2】(4回目) • 相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)【情報入門2】(3回目)「データサイエンス入門」(11回目) • 母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)【情報入門1】(43回目)「データサイエンス入門」(13回目) • クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列【情報入門2】(42回目) • 統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)【情報入門1】(44回目)「データサイエンス入門」(11回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> • データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)【情報入門1】(44回目)「情報入門2」(2,13回目)「データサイエンス入門」(11回目) • データの図表表現(チャート化)【情報入門2】(3回目) • データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)【情報入門1】(7回目)「データサイエンス入門」(7回目) • 不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)【情報入門1】(44回目)「データサイエンス入門」(11回目) • 優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)【情報入門2】(43回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> • データの集計(和、平均)【情報入門1】(4,5回目)「データサイエンス入門」(4,5回目) • データの並び替え、ランキング【情報入門1】(8回目)「情報入門2」(4回目)「データサイエンス入門」(9回目) • データ解析ツール(スプレッドシート)【情報入門1】(4回目)「データサイエンス入門」(4~14回目) • 表形式のデータ(csv)【情報入門1】(43回目)「データサイエンス入門」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

⑧ 「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンス入門	2		○	○	○						
政治データ分析入門Ⅰ	2		○	○	○						
政治データ分析入門Ⅱ	2		○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「データサイエンス入門」(2回目、3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目)
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(10、13回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(4、5、13回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「データサイエンス入門」(2回目) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス入門」(2回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス入門」(2回目)
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がりが(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(6回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(3、6回目) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「データサイエンス入門」(3回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス入門」(2回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「データサイエンス入門」(2回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(11回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(5回目) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス入門」(2回目) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「データサイエンス入門」(2回目) ・マルチモーダル(言語、画像、音声など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)「データサイエンス入門」(3回目)
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(3回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(4、13回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス入門」(3回目)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【リテラシーレベル】

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> • ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • データバイアス、アルゴリズムバイアス「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • 生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス入門」(3回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「データサイエンス入門」(3回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(14回目) • 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス入門」(1回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> • データの種類(量的変数、質的変数)「政治データ分析入門Ⅰ」(4回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(2回目) • データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「データサイエンス入門」(6回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(9回目) • 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「政治データ分析入門Ⅱ」(6、9回目) • 外れ値「政治データ分析入門Ⅰ」(11回目) • 相関と因果(相関係数、疑似相関、交絡)「データサイエンス入門」(11回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(7、8、9回目)・「政治データ分析入門Ⅱ」(10、11回目) • 母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「データサイエンス入門」(13回目) • 統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス入門」(11回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> • データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)「データサイエンス入門」(11回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(7、11回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(5、6回目) • データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「データサイエンス入門」(7回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(9、13回目)・「政治データ分析入門Ⅱ」(13回目) • 不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「データサイエンス入門」(11回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> • データの集計(和、平均)「データサイエンス入門」(4、5回目)「政治データ分析入門Ⅱ」(4回目) • データの並び替え、ランキング「データサイエンス入門」(9回目)「政治データ分析入門Ⅰ」(4回目) • データ解析ツール(スプレッドシート)「データサイエンス入門」(4~14回目) • 表形式のデータ(csv)「データサイエンス入門」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理入門	2	○	○	○	○						
情報リテラシー基礎演習	2	○		○							
統計入門	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「情報システム入門」(1、2、3、4、11、12、14回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の非連続的進化「情報システム入門」(4回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「情報システム入門」(1、4、14回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「情報システム入門」(1回目) ・人間の知的活動とAIの関係性「情報システム入門」(4、14回目) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「情報システム入門」(1回目)、「情報処理入門」(15回目)
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「情報システム入門」(3、4回目) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「情報システム入門」(4、11回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「情報システム入門」(2、3回目)、「情報処理入門」(15回目)、「情報リテラシー基礎演習」(3、4回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「情報処理入門」(15回目) ・データ作成(ビッグデータとアノテーション)「情報システム入門」(3回目)、「情報処理入門」(15回目)
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「情報処理入門」(9回目)、「情報リテラシー基礎演習」(3、4回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「情報システム入門」(3回目)、「情報処理入門」(7、8、9回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「情報処理入門」(7、8、9回目)
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「情報処理入門」(15回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「情報システム入門」(2、3回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「情報システム入門」(14回目)、「情報リテラシー基礎演習」(1、15回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「情報システム入門」(14回目)、「情報処理入門」(3、4回目)、「情報リテラシー基礎演習」(1、15回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「情報システム入門」(14回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介「情報処理入門」(3、4回目)、「情報リテラシー基礎演習」(15回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「情報システム入門」(14回目)(13回目) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「情報システム入門」(14回目)、「情報処理入門」(3、4回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報システム入門」(14回目)(13回目)、「情報処理入門」(3、4回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「統計入門」(1、2回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報処理入門」(7、8、9回目)、「統計入門」(1回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)「統計入門」(1回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「統計入門」(1、2回目) ・観測データに含まれる誤差の扱い「統計入門」(1回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「統計入門」(13回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「統計入門」(1回目) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報処理入門」(7、8、9、10回目)、「統計入門」(2回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報処理入門」(7、8、9回目)、「情報リテラシー基礎演習」(5、6回目)、「統計入門」(2回目) ・データの図表表現(チャート化)「情報処理入門」(7、8、9回目)、「情報リテラシー基礎演習」(5、6回目)、「統計入門」(2回目) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「統計入門」(1、10回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計(和、平均)「情報処理入門」(7、8、9回目)、「統計入門」(3回目) ・データの並び替え、ランキング「情報処理入門」(7、8、9、10回目) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「情報処理入門」(7、8、9、10回目) ・表形式のデータ(csv)「統計入門」(3回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報基礎 I	2	○	○	○	○						
情報基礎 II	2	○	○	○							

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「情報基礎 I」(4回目)(2、3回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の非連続的進化「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「情報基礎 I」(4回目)(2回目)
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「情報基礎 I」(5回目)(3回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「情報基礎 I」(4回目)(2回目)
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「情報基礎 I」(3回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「情報基礎 I」(4回目)(2回目) ・マルチモーダル(言語、画像、音声 など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)「情報基礎 I」(3回目)
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「情報基礎 I」(5回目)(3回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「情報基礎 I」(3回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「情報基礎 I」(5回目)(3回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報基礎 I」(1回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「情報基礎 II」(4回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報基礎 I」(4回目)(6回目)「情報基礎 II」(6回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報基礎 II」(6回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報基礎 II」(6回目) ・観測データに含まれる誤差の扱い「情報基礎 II」(11回目) ・打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ「情報基礎 II」(4回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「情報基礎 II」(7回目)「情報基礎 I」(11回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「情報基礎 I」(13回目) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報基礎 II」(4回目) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「情報基礎 I」(11回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報基礎 I」(11回目)「情報基礎 II」(13回目) ・データの図表表現(チャート化)「情報基礎 II」(7回目) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「情報基礎 I」(9回目)(7回目) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「情報基礎 I」(11回目) ・優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)「情報基礎 II」(13回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計(和、平均)「情報基礎 I」(6,7回目)(4、5回目) ・データの並び替え、ランキング「情報基礎 I」(10回目)(9回目) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「情報基礎 I」(6回目)(4回目~14回目) ・表形式のデータ(csv)「情報基礎 I」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報分析基礎	2	○	○	○	○						
情報分析演習	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「ネットワーク情報総論1」(3・4・10回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「ネットワーク情報総論1」(3・4・10回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「ネットワーク情報総論1」(3・4・10回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス「ネットワーク情報総論1」(3・4・10回目)
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「ネットワーク情報総論1」(3・4・10回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「ネットワーク情報総論1」(6回目)
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「ネットワーク情報総論1」(5・6・7回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「ネットワーク情報総論1」(5・7回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「ネットワーク情報総論1」(5・7回目) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「ネットワーク情報総論1」(5・7回目) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「ネットワーク情報総論1」(5・7回目)
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「ネットワーク情報総論1」(5・7回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「ネットワーク情報総論1」(5・7回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「ネットワーク情報総論1」(8回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「ネットワーク情報総論1」(8回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「ネットワーク情報総論1」(8回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「情報分析基礎」(1回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報分析基礎」(2回目)「情報分析演習」(4回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報分析基礎」(2回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報分析基礎」(3回目)「情報分析演習」(4回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「情報分析基礎」(4回目)「情報分析演習」(6回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「情報分析演習」(7・8回目) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報分析演習」(6回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報分析基礎」(2・3回目)「情報分析演習」(3・4・6回目) ・データの図表表現(チャート化)「情報分析基礎」(2・3回目)「情報分析演習」(3・4・5・6回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計(和、平均)「情報分析基礎」(1回目)「情報分析演習」(1回目) ・データの並び替え、ランキング「情報分析演習」(2回目) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「情報分析演習」(1~8回目) ・表形式のデータ(csv)「情報分析演習」(8回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「日本語情報処理1」(7,9回目)「情報入門1」(3回目) 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「日本語情報処理1」(7,9回目)「情報入門1」(3回目) データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「日本語情報処理1」(7,9回目)「日本語情報処理2」(11,12回目)「情報入門1」(3回目) AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「日本語情報処理1」(9回目)「情報入門1」(3回目) データバイアス、アルゴリズムバイアス「日本語情報処理1」(9回目)「情報入門1」(3回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「日本語情報処理1」(9,9回目)「情報入門1」(3回目) 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「日本語情報処理1」(8回目) 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「日本語情報処理1」(8,9回目)「情報入門1」(1回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> データの種類(量的変数、質的変数)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門2」(11回目) データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(6回目)「情報入門2」(2回目) 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門2」(2回目) データのばらつき(分散、標準偏差、偏偏差)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「情報入門2」(2回目) 打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門2」(11回目) 母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「情報入門1」(13回目) クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門2」(12回目) 観測データに含まれる誤差の扱い「情報入門2」(11回目)・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「情報入門2」(3回目) 統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「情報入門1」(11回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(11回目)「情報入門2」(2,13回目) データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(7回目) 優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門2」(13回目) データの図表表現(チャート化)「情報入門2」(3回目) 不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「情報入門1」(11回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> データの集計(和、平均)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(4,5回目) データの並び替え、ランキング「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(8回目)「情報入門2」(4回目) データ解析ツール(スプレッドシート)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(4回目) 表形式のデータ(csv)「日本語情報処理1」(6,7,11,12回目)「日本語情報処理2」(3,7回目)「情報入門1」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会の変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身につけることができる。

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	データサイエンス入門
職名/担当教員	商学部 兼任講師 岡戸 順一
期間/曜日/時限	前期 月曜日 1時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配 当	経済・文・人間科学部1234
単 位	2
コースコード	GIN101
授業形態	演習(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解/汎用的技能
その他(初回授業クラスコード)	o27pdnds

<p>講義内容</p>	<p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メールなどの専修大学のシステムを利用できるようになる。 情報倫理について理解する。 数値・データサイエンス・AIの動画内容を理解する。 PC(表計算)を使って、データの収集、簡単なデータ分析、可視化できるようになり、報告書の形にまとめられるようになる。 情報処理の基本的な考え方(論理的な処理方法での指示)ができるようになる。 <p><講義概要></p> <p>情報倫理について理解し、情報機器、ネットワークの基本的な使い方および情報処理の基本的な考え方を学習する。 学習の目標は、他の授業で必要とされる情報処理の基礎(リテラシー)を取得することと、様々な情報処理を行うことができるように基礎的なコンピュータの考え方を取得することである。 表計算ソフトウェアを通して、情報処理の基本的な考え方(計算式の設定、グラフ化、絶対参照等)を学習する。</p> <p>(1) 専修大学のシステムの使い方1・数値・データサイエンス・AI教育プログラム(オンデマンド授業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 専修大学のシステムの使い方、電子メールの設定、PCの設定の確認、ビデオ会議システム Google meet の利用 情報倫理(動画紹介)、専修大学のさまざま資源(図書館システムなどの紹介) 専修大学のLMS(教材の取得、課題提出の練習) 文部科学省の数値・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル / 応用基礎レベル)の修了認定を取得するには <p>(2) 社会におけるデータ・AI利活用: 社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域、データ・AI利活用のための技術</p> <p>(3) 社会におけるデータ・AI利活用とデータ・AI利活用における留意事項: データ・AI利活用の現場、データ・AI利活用の最新動向、データ・AI利活用における留意事項、データを守る上での留意事項 生成AI:(1)生成AIとその利用例、(2)利用する上での注意点、(3)学生に期待すること</p> <p>(4) 専修大学のシステムの使い方2: OneDriveの使い方、仮想デスクトップ(VDI)の使い方、課題の提出方法 表計算:データ入力、計算式の設定</p> <p>(5) 表計算:表の整形、計算式の設定 (6) 表計算:データの集計:合計、代表値(平均値、中央値、最大値、最小値、トリム平均) (7) 表計算:データの集計:ワークシート間の演算、割合の平均、比率の集計(幾何平均)、データの比較、条件を揃えた比較(単位あたりの値) (8) 表計算:絶対参照と相対参照、スパル (9) 表計算:IF関数、ソート、順位 (10) 表計算:表引き(LOOKUP関数)、スパル (11) 表計算:グラフによる可視化 可視化の目的、棒グラフ、散布図、折れ線グラフ、ヒートマップ 不適切なグラフ(縦軸・横軸の設定、3Dグラフ) (12) 表計算:データの分析(国の統計などから報告書を作成) (13) 統計データベース(e-Statなど)を利用して統計データの取得、表形式のデータ(csvなど) (14) 収集した統計データによるレポートの作成(含:章、節、図表番号などの設定) (15) まとめ</p> <p><授業で実施するアクティブ・ラーニング> 実習</p> <p><課題に対するフィードバックの方法> 共通した誤りや優れた分析がある場合、授業中に取り上げて再度説明したり、講評したりする。</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p><教科書></p> <p>電子版テキスト「データサイエンス入門」(2026年度版) 専修大学情報科学センター http://www.isc.senshu-u.ac.jp/jtext/text2026/</p> <p><参考書></p> <p>知のツールボックス(専修大学 出版局) はじめてのAIリテラシー(技術評論社)</p>
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>(1) 成績評価方法 定期試験:実施しない。</p> <p>(2) 成績評価基準・評価の配分等</p>

	<p>成績評価は平常点とするので、授業内に提出する課題・確認テストや随時要求されるレポート提出が重視される。 授業中に課される課題などの平常点 および 動画視聴の確認テスト 50% レポート 50%</p>
履修上の留意点	<p>この科目は、学籍番号によりクラス指定がある。</p> <p>この授業は、BYOD(Bring Your Own Device, 各自のPCを教室に持ち込んで学修)形式で実施する。各自で、推奨スペックのPC(https://www.senshu-u.ac.jp/visitor/for_new_students/)を用意し、専修大学用のOffice 365 のインストールなど大学からの指定の設定作業をして授業に参加すること。情報科学センター新入生ガイダンスページ: https://www.senshu-u.ac.jp/isc/isc_guidance.html 推奨スペック以外のPCや必要な設定をしていない場合、教える側は対応できない場合がある。</p> <p>準備学習においては、各回の授業内容に該当する範囲について、教科書などで調べておき、授業での学習に備えること。</p> <p>事後学習においては、教科書や授業ノートを整理し、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深め、PC等を使い、授業時間中に指示した課題を作成する。</p> <p>本授業は、第1回はオンデマンド授業、第2回以降は対面授業である。担当教員の判断で、対面授業の場合でもオンラインによる講義を最大2回実施する可能性がある。</p>
担当教員へのアクセス	
その他	<p>本授業は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」の修了要件科目です(2022年度以降入学者)。</p>
更新日付	2026/02/18 16:09

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	政治データ分析入門 I
職名／担当教員	法学部 准教授 渡邊 有希乃
期間／曜日／時限	前期 月曜日 5時限
開講区分／校舎	一部神田／神田
配 当	政治学科1234
単 位	2
コースコード	STS112
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解
その他(初回授業クラスコード)	7k22ak6q

講義内容	<p><到達目標></p> <p>(1) データや事例を用いた検討を適切に組み合わせながら、現象を正しく捉えて説明を示すことができる。</p> <p>(2) 世の中にあふれる政治的な言説について、科学的な態度で考察を加えたいうえで、自身の解釈を展開することができる。</p> <p><講義概要></p> <p>本講義では、社会で生じている諸現象について科学的・学問的な態度で議論するための「方法」を学修する。大学以降の学修では「資料やデータを用いて現状を把握し、それをもとに自身の考察を展開する」ことが、これまで以上に多くのシーンで求められるようになる。その際にはたとえば、「A国とB国の状況を比較して、各国の政治の特徴を描き出す」といった方法がとられることがあるが、では、そもそも「比較」とはどのような行為であり、正しく比較を行うためにはどのようなことに気をつければ良いのだろうか。本講義ではこのような、学問的に議論を展開するための「方法」そのものについて学んでいく。</p> <p><講義計画></p> <p>(1) ガイダンス 本講義の設置目的や一学期間の講義の予定、履修上のルールなどについて説明する。</p> <p>(2) 政治学の見取り図と政治学の方法 政治学が、どのような内容をどのような方法で議論する学問分野であるのか、その全体像について整理する。そのうえで、本講義および政治学科で学修する各科目の位置付けについても説明する。</p> <p>(3) 「事実にもとづく議論」の方法 政治学の中でも、とりわけ「事実にもとづく議論」によって考察を深めていく学問のあり方について整理する。関連して、データサイエンスのサイクルについても議論する。</p> <p>(4) 測定と比較 ～「みんな違ってみんな良い」は科学か？ データを用いて現状を把握するためには、説明したい概念とデータを結びつけたうえで、複数のデータを組み合わせることで他者を説得する必要がある。そのための方法について学修する。</p> <p>(5) 反証可能性 ～「説明になっていない」を防ぐには？ 説得的な説明とは、「まったく反論の余地がない」説明ではなく、「反論する方法が用意されていないが、未だ反証されていない」説明である。そのような説明を目指すために何に気をつける必要があるのか、議論する。</p> <p>(6) AI技術の発展を考える 近年めざましい発展を遂げているAI技術と、それを支えるビッグデータについて学修し、自身の生活との関係について考察する。</p> <p>(7) ものごとの原因を考察する(1) 因果関係とは何か 世の中には、さまざまな「なぜ？」があふれている。政治学の分野でも、ある現象の原因を探ろうとするような研究が行われることが多い。「なぜ人は投票に行く／行かないのか」「政治家はなぜ有権者の希望を無視したような振る舞いをするのか」「なぜA国とB国は戦争を始めたのか」…。ものごとの原因について考察し議論しようとする際には何に気をつける必要があるのか、議論する。</p> <p>(8) ものごとの原因を考察する(2) 「今どきの若者は」言説に反論してみよう 「今どきの若者は政治への関心が薄いので、投票率が低い。もっと政治に興味を持ってもらわないとならない。」政治学科で政治を学ぶ、政治への関心が薄い皆さんならどのように反論するだろうか。論理とデータを武器に考察してみよう。</p> <p>(9) ものごとの原因を考察する(3) それって本当の原因ですか？ 社会は複雑であり、ある一つの現象がさまざまな要因の複雑な絡まり合いによってもたらされていることがしばしばである。そうした中で、ものごとの「真の」原因を特定するためには何に気をつける必要があるのか、議論する。</p> <p>(10) 事例とデータを用いた説明 (1) 「合格体験記」は信用できる？ これまでの講義で学んだことを踏まえながら、事例やデータを組み合わせることで他者を説得するための方法を考える。その第1回目として、複数の事例を見比べながら結論を得るための方法について議論する。</p> <p>(11) 事例とデータを用いた説明 (2) 「新橋のサラリーマン100人に聞きました」は民意といえるか？ 事例やデータを組み合わせることで他者を説得する方法を考える第2回目として、大量のデータを用いた検討によって結論を得るための方法について議論する。</p> <p>(12) 事例とデータを用いた説明 (3) 「いわんや」論法を活用してみよう 事例やデータを組み合わせることで他者を説得する方法を考える第3回目として、単一の事例を掘り下げて詳しく検討することで結論を得るための方法について議論する。</p> <p>(13) 社会科学における実験 ～ 政治と民意は実験できるのか 事例やデータを組み合わせることで他者を説得する方法を考える議論の番外編として、未だこの世に存在しないデータを「実験」を通じて収集する方法について議論する。</p>
------	---

	<p>(14) データ収集・活用時の倫理を考える 事例やデータを用いて議論を進めたり、実験によってデータを収集したりする際に留意すべき倫理について議論する。</p> <p>(15) 前期のまとめ 前期に学修したことをふり返り、議論をまとめる。 なお、この回に「定期試験規程準用試験」およびその解説授業を実施する可能性がある。</p> <p>※以上の講義計画は、講義の進捗や履修者の理解状況、実際の政治行政イベントの発生等に応じて、変更となる可能性がある。</p> <p>◆予習・復習について 予習 授業の数日前にClassroomを通じて講義資料を配布するので、目を通して頂くこと。 復習 持ち帰り課題が出題された回には、講義の内容を振り返りながら解答の作成に取り組むこと。授業内課題が出題された回にはその見直しを行うこと。 ※予習・復習ともに、『専修大学法学部学修ガイドブック』に記載の事項を参考に、適宜十分な時間をとって取り組むこと。</p> <p><課題に対するフィードバックの方法> 持ち帰り課題の解説と講評は、出題の翌週に口頭で行う。授業内課題に関しては、その場で解説を行う。</p>
教科書・参考書	<p>※参考書の位置づけについては初回講義で説明する。購入は、初回講義での説明を待ってからで構わない。</p> <p>[教科書] 指定しない</p> <p>[参考書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米郁男(2025)『原因を推論する 新版』有斐閣。 ・加藤淳子・境家史郎・山本健太郎 編(2014)『政治学の方法』有斐閣。 ・松林哲也(2021)『政治学と因果推論』岩波書店。
成績評価方法・基準	<p>◆ 前期試験(65%) 「到達目標」に記載の項目について、理解度や考察力を問う内容の筆記試験を行う。この試験については、15回目の授業時に「定期試験規程準用試験」として実施する可能性がある。準用試験に振り替える場合には授業中に案内する。</p> <p>◆ 平常点(1) 持ち帰り課題(15%) 学期中に数回、記述式の持ち帰り課題を出題する。各回、定められた期限内に提出することで満点を付与する。自力で考えた誠実な解答であれば、答案の出来栄は問わない(問いに明らかに答えていない答案や、他の学生と同一の答案、生成系AIに過度に依存したことが疑われる答案を提出した場合には、個別に事情を尋ねる場合がある)。</p> <p>◆ 平常点(2) 授業内課題(20%) 授業中にClassroomやGoogle Formsを用いて、学生自身の意見を問うアンケートや、それまでの授業の理解度を問う選択式オンラインテストを実施する(実施は抜き打ち、学期中に数回実施)。アンケートは回答状況に、オンラインテストは正答数に応じて点数を付与する。</p>
履修上の留意点	<p>授業内課題をClassroomやWeb上のアンケートフォームを通じて提出してもらうことがあるため、授業には毎回必ずインターネットに接続できるデバイスを持参すること。</p>
担当教員へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレス y.watanabe@isc.senshu-u.ac.jp(@を@に変えて送信のこと) ・オフィスアワーについては初回講義で案内する
その他	<p>初回授業はオンライン(オンデマンド形式)で実施する。 第2回以降の授業は教場での対面講義となるが、担当教員の都合により、予め収録した動画を配信する形式をとる回が数回発生する可能性がある。</p>
更新日付	2026/02/17 12:14

シラバス参照

開講年度	2026
科目名	政治データ分析入門Ⅱ
職名／担当教員	法学部 准教授 渡邊 有希乃
期間／曜日／時限	後期 月曜日 5時限
開講区分／校舎	一部神田／神田
配 当	政治学科1234
単 位	2
コースコード	STS112
授業形態	講義(対面)
卒業認定・学位授与の方針との関連	知識・理解
その他(初回授業クラスコード)	

講義内容	<p><到達目標> (1) 政治学諸分野の基礎的な理論や学説について、実証的な態度で説明を加えることができる。 (2) 実証的な態度で積み重ねられてきた政治学諸分野の研究について、その関心や成果を理解し、批判的検討を加えることができる。</p> <p><講義概要> 本講義では、前期科目「政治データ分析入門Ⅰ」で学修した、「事実にもとづく議論」の方法の基礎が身についていることを前提として、こうした方法を用いて積み重ねられてきた政治学諸分野の研究内容を概観する。これを通じて、政治学の基礎的な概念・理論・学説を、実証的な(≒事実にもとづく議論によって検討を深める)立場から理解し、説明できるようになることを目指す。</p> <p><講義計画> (1) ガイダンス 本講義の設置目的や一学期間の講義の予定、履修上のルールなどについて説明する。</p> <p>(2) 民主主義を考える(1) 民主主義は測れるか 「ある国が民主主義国家であること」を、データで説明することはできるのか。Freedom House や Polity Project によるスコア等を概観しながら検討する。</p> <p>(3) 民主主義を考える(2) 民主化はなぜ起こるのか 主権国家に民主化をもたらす要因について、これまで政治学で議論されてきたことを整理して紹介する。</p> <p>(4) 人はなぜ選挙で投票するのか(1) 投票に行くのは「お得」か「損」か 有権者はどのような理由で、毎回の選挙で投票に行ったり行かなかったりするの。人々の投票行動を左右する要因について、これまで政治学で議論されてきたことを整理して紹介する。</p> <p>(5) 人はなぜ選挙で投票するのか(2) 投票率を上げるために何が出来るか 第4回講義の内容を踏まえながら、日本の選挙を題材として投票率を左右する要因について分析した実証研究のいくつかを取り上げ、議論を深める。</p> <p>(6) 政党数はどのように決まるのか ~ 二大政党制になる国・ならない国 政治の舞台で活躍する政党の数は、国によって、あるいは一国の中でも地域によってさまざまである。その政党の数は、どのような要因によって左右されるのか。理論とデータの双方を参照しながら議論する。</p> <p>(7) 政党は掲げる政策をどのように決めるのか 選挙を戦う政党は、それぞれ「マニフェスト」を掲げて自身の政策アピールする。では、実際のところ政党は、どのようにして自身掲げる政策の内容を決定しているのだろうか。理論とデータの双方を参照しながら議論する。</p> <p>(8) 応用(1) 戦争はなぜ起こるのか 国家同士が武力で衝突する戦争は、なぜ発生してしまうのか。ここまで学修した理論を踏まえつつ、さまざまな立場からの説明を試みる。</p> <p>(9) 応用(2) 民主主義国家はなぜ福祉政策を充実させるのか 成熟した民主主義国家では、福祉政策(リスクに備えた所得再分配の政策)が充実していくのが常である。それはなぜなのか。ここまで学修した理論を踏まえつつ、さまざまな立場からの説明を試みる。</p> <p>(10) メディア報道は私たちの思考を変えるのか メディアは、立法・司法・行政の三権に次ぐ「第四の権力」と呼ばれることがある。メディアの報道は、政治に関する私たちの思考にどのような影響を与えるのだろうか。理論とデータの双方を参照しながら議論する。</p> <p>(11) ネット上の情報は私たちの思考を変えるのか SNSの発達した現代では、メディア報道に加えてインターネット上に溢れる情報も、私たちに大きな影響を与えている。ネット上の情報は、政治に関する私たちの思考にどのような影響を与えるのだろうか。理論とデータの双方を参照しながら議論する。</p> <p>(12) どのような人が公務員になるのか 公的サービスの提供を通じて私たちの社会を支える存在として、「公務員」という職業がある。では、「公務員」という職業を選択するのはどのような人物であり、なぜ公務員になろうと思うのだろうか。理論とデータの双方を参照しながら議論する。</p> <p>(13) 政府はなぜ市民から信頼されないのか ひとりひとりの市民は、政府に対する信頼をどのような経緯と理由で形成していくのだろうか。近年の政治学では、実験的手法を用いてこうした個々の市民の内面に迫る研究がみられるようになってきた。研究成果を参照しながら議論する。</p> <p>(14) 「である論」と「べき論」との距離をめぐって 本講義では一貫して、実証的な立場から政治を理解することを試みてきた。しかしこれらの議論は、価値判断を伴う規範的な議論から完全に切り離されているわけではない。実証と規範との関係性について検討する。</p>
------	--

	<p>(15)後期のまとめ 後期に学修したことをふり振り返り、議論をまとめる。 なお、この回に「定期試験規程準用試験」およびその解説授業を実施する可能性がある。</p> <p>※以上の講義計画は、講義の進捗や履修者の理解状況、実際の政治行政イベントの発生等に応じて、変更となる可能性がある。</p> <p>◆予習・復習について 予習 授業の数日前にClassroomを通じて講義資料を配布するので、目を通してのこと。 復習 持ち帰り課題が出題された回には、講義の内容を振り返りながら解答の作成に取り組むこと。授業内課題が出題された回にはその見直しを行うこと。 ※予習・復習ともに、『専修大学法学部学修ガイドブック』に記載の事項を参考に、適宜十分な時間をとって取り組むこと。</p> <p><課題に対するフィードバックの方法> 持ち帰り課題の解説と講評は、出題の翌週に口頭で行う。授業内課題に関しては、その場で解説を行う。</p>
教科書・参考書	<p>※参考書の位置づけについては初回講義で説明する。購入は、初回講義での説明を待ってからで構わない。 [教科書] 指定しない [参考書] ・久米郁男(2025)『原因を推論する 新版』有斐閣。 ・加藤淳子・境家史郎・山本健太郎 編(2014)『政治学の方法』有斐閣。 ・松林哲也(2021)『政治学と因果推論』岩波書店。</p>
成績評価方法・基準	<p>◆ 後期試験(65%) 「到達目標」に記載の項目について、理解度や考察力を問う内容の筆記試験を行う。この試験については、15回目の授業時に「定期試験規程準用試験」として実施する可能性がある。準用試験に振り替える場合には授業中に案内する。</p> <p>◆ 平常点(1) 持ち帰り課題(15%) 学期中に数回、記述式の持ち帰り課題を出題する。各回、定められた期限内に提出することで満点を付与する。自力で考えた誠実な解答であれば、答案の出来栄は問わない(問いに明らかに答えていない答案や、他の学生と同一の答案、生成系AIに過度に依存したことが疑われる答案を提出した場合には、個別に事情を尋ねる場合がある)。</p> <p>◆ 平常点(2) 授業内課題(20%) 授業中にClassroomやGoogle Formsを用いて、学生自身の意見を問うアンケートや、それまでの授業の理解度を問う選択式オンラインテストを実施する(実施は抜き打ち、学期中に数回実施)。アンケートは回答状況に、オンラインテストは正答数に応じて点数を付与する。</p>
履修上の留意点	<p>授業内課題をClassroomやWeb上のアンケートフォームを通じて提出してもらうことがあるため、授業には毎回必ずインターネットに接続できるデバイスを持参すること。</p>
担当教員へのアクセス	<p>・メールアドレス y.watanabe ■isc.senshu-u.ac.jp(■を@に変えて送信のこと) ・オフィスアワーについては初回講義で案内する</p>
その他	<p>初回授業はオンライン(オンデマンド形式)で実施する。 第2回以降の授業は教場での対面講義となるが、担当教員の都合により、予め収録した動画を配信する形式をとる回が数回発生する可能性がある。</p>
更新日付	2026/02/17 12:25

経済学部

学修ガイドブック

2026

令和8年度

専修大学

※ この「学修ガイドブック」は卒業まで使用しますので、大切に保管してください。

8. 科目一覧 (令和8年度入学者用)

経済学部現代経済学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	備考		
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なる場合は、それぞれ履修することができず(同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。 		
	データサイエンス入門							
	データサイエンス実践	A 1 基礎						
		データサイエンス活用演習						
	キャリア入門							
	キャリアマッチング							
	キャリア長期体験(プロジェクト型)							
		キャリア科目1						
		キャリア科目2						
		グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)			
S i応用科目		分野横断科目						
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)				
教養科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修にこだわらず履修することができず(修得単位の上限はありません)。 		
	日本の文学	歴史と社会・文化	ことば論理					
	世界の文学	基礎心理学入門	芸術学入門					
	文学と現代世界	応用心理学入門	異文化理解の人類学					
	英語圏文学への招待	哲学	ジャーナリズムと現代					
	歴史の視点	倫理学						
	日本国憲法	社会学入門	はじめての経営					
	法と社会	現代の社会学	マーケティングベーシックス					
	政治学入門	教育学入門	企業と会計					
	世界の政治	子どもと社会の教育学						
情報社会	情報社会							
自然科学系科目	あなたと自然科学							
	自然科学実験演習 1	生物学C 1	化学A 1	物理学B 1	数理学C 1			
自然科学実験演習 2 (4)	生物学C 2	化学A 2	物理学B 2	数理学C 2				
生物学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理学A 1	科学論A 1				
生物学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理学A 2	科学論A 2				
生物学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理学B 1	科学論B 1				
生物学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理学B 2	科学論B 2				
保健体育系科目	スポーツリテラシー (1)							
	スポーツウェルネス (1)							
		アドバンストスポーツ	スポーツ論(サスティナブルスポーツ)					
		スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(ハイパフォーマンス)					
英語	A	Basics of English (RL) 1a (1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず。 ・General English は、英語「A・B・D群」の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語「D群 (General English 含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1 a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。 		
	群	Intermediate English (RL) 1a (1)						
		Intermediate English (RL) 1b (1)						
	B	Basics of English (SW) 1a (1)						
	群	Basics of English (SW) 1b (1)						
		Intermediate English (SW) 1a (1)						
		Intermediate English (SW) 1b (1)						
	D	Basics of English (SW) 2a (1)						
		Basics of English (SW) 2b (1)						
		Intermediate English (SW) 2a (1)						
	Intermediate English (SW) 2b (1)							
	General English (1)							
	English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)					
	English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)					
		Advanced English a	English Presentation a					
		Advanced English b	English Presentation b					
		English Language and Cultures a	English Writing a					
		English Language and Cultures b	English Writing b					
外国語科目	ドイツ語初級1 a	(1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず。 ・【初級1 a・b、初級2 a・b】1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している場合、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 ・【中級1 a・b】同一言語の中級1 a・bを履修しなければなりません。 ・卒業要件単位として履修する場合、英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語を履修しなければなりません。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができ、合計2単位まで修得することができます。 		
	ドイツ語初級1 b	(1)						
	ドイツ語初級2 a	(1)						
	ドイツ語初級2 b	(1)						
	フランス語初級1 a	(1)						
	フランス語初級1 b	(1)						
	フランス語初級2 a	(1)						
	フランス語初級2 b	(1)						
	中国語初級1 a	(1)						
	中国語初級1 b	(1)						
中国語初級2 a	(1)							
中国語初級2 b	(1)							
スペイン語初級1 a	(1)							
スペイン語初級1 b	(1)							
スペイン語初級2 a	(1)							
スペイン語初級2 b	(1)							
ロシア語初級1 a	(1)							
ロシア語初級1 b	(1)							
ロシア語初級2 a	(1)							
ロシア語初級2 b	(1)							
インドネシア語初級1 a	(1)							
インドネシア語初級1 b	(1)							
インドネシア語初級2 a	(1)							
インドネシア語初級2 b	(1)							
コリア語初級1 a	(1)							
コリア語初級1 b	(1)							
コリア語初級2 a	(1)							
コリア語初級2 b	(1)							
英語以外の外国語			ドイツ語中級1 a (1)	中国語中級1 a (1)	ロシア語中級1 a (1)	コリア語中級1 a (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次で英語「D群 (General English 含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎の中級1 a・b」(※2)から、どちらか一方で2単位を履修しなければなりません。 	
			ドイツ語中級1 b (1)	中国語中級1 b (1)	ロシア語中級1 b (1)	コリア語中級1 b (1)		
			フランス語中級1 a (1)	スペイン語中級1 a (1)	インドネシア語中級1 a (1)			
			フランス語中級1 b (1)	スペイン語中級1 b (1)	インドネシア語中級1 b (1)			
			ドイツ語中級2 a (1)	中国語中級2 a (1)	ロシア語中級2 a (1)	コリア語中級2 a (1)		
			ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級2 b (1)	ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級2 b (1)		
			フランス語中級2 a (1)	スペイン語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 a (1)			
			フランス語中級2 b (1)	スペイン語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 b (1)			
			ドイツ語上級1 a (1)		ロシア語上級1 a (1)			
			ドイツ語上級1 b (1)		ロシア語上級1 b (1)			
		フランス語上級1 a (1)		インドネシア語上級1 a (1)				
		フランス語上級1 b (1)		インドネシア語上級1 b (1)				
		中国語上級1 a (1)		コリア語上級1 a (1)				
		中国語上級1 b (1)		コリア語上級1 b (1)				
		スペイン語上級1 a (1)						
		スペイン語上級1 b (1)						
		選択ドイツ語1 a (1)	選択スペイン語1 a (1)	選択イタリア語1 a (1)				
		選択ドイツ語1 b (1)	選択スペイン語1 b (1)	選択イタリア語1 b (1)				
		選択フランス語1 a (1)	選択コリア語1 a (1)					
		選択フランス語1 b (1)	選択コリア語1 b (1)					
		選択中国語1 a (1)	選択アラビア語1 a (1)					
		選択中国語1 b (1)	選択アラビア語1 b (1)					
		世界の言語と文化(ドイツ語)	世界の言語と文化(中国語)	世界の言語と文化(ロシア語)	世界の言語と文化(コリア語)			
		世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(アメリカ)			
		言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)				
海外語学研修	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)				<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 ・海外語学短期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 		
	海外語学中期研修1(外国語)	海外語学中期研修2(外国語)	海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修4(外国語)	海外語学中期研修5(外国語)		海外語学中期研修6(外国語)	海外語学中期研修7(外国語)
単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)			<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されず。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なる場合は、それぞれ履修することができず(同一年度での複数履修も可能)。 		

経済学部国際経済学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位の修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 	
	データ分析入門						
	データサイエンス入門						
	データサイエンス実践						
		A I基礎					
		データサイエンス活用演習					
		キャリア入門					
		キャリアマッピング					
		キャリア長期体験（プロジェクト型）					
			キャリア科目1				
		キャリア科目2					
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)			
S i応用科目		分野横断科目					
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)			
				S iゼミナール論文			
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツアドバンスプログラムとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンススポーツの履修は、前期1科目を上限とし、次学期以降も履修にカウントされず履修することができます（修得単位の上限はありません）。 	
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 地理学への招待	社会学入門 現代の社会学 教育学入門 子どもと社会の教育学 情報社会	はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計			
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4)	生物学C 1 生物学C 2	化学A 1 化学A 2 化学B 1 化学B 2	物理学B 1 物理学B 2 数理科学A 1 数理科学A 2 数理科学B 1 数理科学B 2		数理科学C 1 数理科学C 2 科学論A 1 科学論A 2 科学論B 1 科学論B 2
	保健体育系科目	スポーツセラシー (1) スポーツウェルネス (1)					
			アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)			
英語	A群	Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・General Englishは、英語「A・B・C・D群」の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語「C・D群 (General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎」(※2)から、どちらか一方で4単位を履修しなければなりません。 	
	B群	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)					
	C群	Basics of English (RL) 2a (1) Basics of English (RL) 2b (1) または Intermediate English (RL) 2a (1) Intermediate English (RL) 2b (1)					
	D群	Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)					
		General English (1)					
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)			
			Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b			
外国語科目	導入	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)				<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 【初級1 a・b、2 a・b】 ・1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて（4科目4単位）履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 【中級1 a・b、2 a・b】 ・同一言語の中級1 a・b、2 a・bを履修しなければなりません。 ・卒業要件単位として履修する場合、英語以外の外国語「導入」の科目と同一言語を履修しなければなりません。 ・各科目は、同一年度に1単位、年度を超えてさらに1単位履修することができます。合計2単位まで修得することができます。 ・2年次で英語「C・D群 (General English含む)」(※1)または英語以外の外国語「基礎」(※2)から、どちらか一方で4単位を履修しなければなりません。 	
	基礎	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1)	中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1)	ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)		
	応用	ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)		ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) インドネシア語上級1 a (1) インドネシア語上級1 b (1) コリア語上級1 a (1) コリア語上級1 b (1)			
		選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択コリア語1 a (1) 選択コリア語1 b (1)	選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)			
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)		
		言語文化研究 (ヨーロッパ)		言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)		
	海外語学研修	海外語学短期修1 (外国語)	海外語学短期修2 (外国語)				
		海外語学中期修1 (外国語) 海外語学中期修2 (外国語) 海外語学中期修3 (外国語)	海外語学中期修4 (外国語) 海外語学中期修5 (外国語) 海外語学中期修6 (外国語)	海外語学中期修7 (外国語) 海外語学中期修8 (外国語)			
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)	単位互換3 (1)			

法 学 部

学 修 ガ イ ド ブ ッ ク

2026

SCHOOL of LAW

専修大学

政治学科 政治理論・歴史コース

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位		
専 門 科 目	入門科目 政治学の世界● 日本政治の基礎● 政治理論の基礎● 国際政治の基礎● 政治データ分析入門Ⅰ● 政治データ分析入門Ⅱ● 法学の基礎 憲法入門 行政法入門				20		
	演習科目 基礎文献講読●	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	専門ゼミナールⅠA(4) Global AffairsⅠ 専門ゼミナールⅠB(4) Global AffairsⅡ 専門ゼミナールⅡA(4) Global AffairsⅢ 専門ゼミナールⅡB(4) Global AffairsⅣ			
	選択必修科目 コース共通科目	憲法統治機構論 憲法人権保障論Ⅰ	憲法人権保障論Ⅱ 民法入門	民法総則 経済原論Ⅰ	経済原論Ⅱ	56	
	所属コース科目	国家論 デモクラシー論	日本政治史Ⅰ 日本政治史Ⅱ	西洋政治史Ⅰ 西洋政治史Ⅱ	ナショナルリズム論 政治体制論	20	
	所属コース外科目	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ	国際政治史Ⅰ 国際政治史Ⅱ	国際紛争論 国際統合論	国際法入門 国際法Ⅰ	8	
				安全保障論 グローバルガバナンス論 国際紛争処理法	アジア地域研究Ⅰ アジア地域研究Ⅱ アメリカ地域研究Ⅰ ヨーロッパ地域研究Ⅱ 国際法Ⅱ 国際人権法 国際環境法	16	
		現代日本政治論Ⅰ 現代日本政治論Ⅱ	行政学Ⅰ 行政学Ⅱ	行政法Ⅰ 行政法Ⅱ	日本外交論Ⅰ 日本外交論Ⅱ	8	
				公共政策Ⅰ 公共政策Ⅱ 社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ まちづくり論 災害対策論 地方自治論Ⅰ 地方自治法Ⅰ 地方自治法Ⅱ		
	選択科目	特殊講義 特殊講義	刑事法入門 商法入門	労働法入門 租税法入門	Japanese Law and Society International Law	外国法入門 簿記論Ⅰ(4)	18
				行政救済法Ⅰ 行政救済法Ⅱ 法社会学Ⅰ 法社会学Ⅱ 法哲学Ⅰ 法哲学Ⅱ 日本法制史Ⅰ 日本法制史Ⅱ 西洋法制史Ⅰ 西洋法制史Ⅱ 東洋法制史Ⅰ 東洋法制史Ⅱ ローマ法Ⅰ ローマ法Ⅱ 英米法Ⅰ 英米法Ⅱ EU法Ⅰ EU法Ⅱ ヨーロッパ大陸法Ⅰ ヨーロッパ大陸法Ⅱ アジア法Ⅰ アジア法Ⅱ	警察行政法 比較憲法Ⅰ 比較憲法Ⅱ 租税法Ⅰ 租税法Ⅱ 物権法Ⅰ 物権法Ⅱ 債権総論Ⅰ 債権総論Ⅱ 債権各論Ⅰ 債権各論Ⅱ 親族法相続法Ⅰ 親族法相続法Ⅱ 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ コーポレートガバナンス コーポレートファイナンス 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 刑法各論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 犯罪学	刑事政策 少年法 環境法 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 労働法展開Ⅰ 労働法展開Ⅱ 経済法Ⅰ 経済法Ⅱ 知的財産法Ⅰ 知的財産法Ⅱ 社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ 国際経済法 国際取引法Ⅰ 国際取引法Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ	ビジネス入門 マーケティング(4) ビジネス英語A ビジネス英語B 現代経済基礎 現代商品論(4) グローバル企業 データヴィジュアライゼーション 地域研究(カナダ・アメリカ) 地域研究(ラテンアメリカ) 地域研究(ヨーロッパ) 地域研究(アジア) 地域研究(中国)

- 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までには124単位を修得している場合も同様です。
- 専門科目において、卒業要件単位を超えて修得した選択必修科目の単位は、選択科目の単位として算入されます。
- 2, 3, 4年次配当の選択必修科目は、コースによって対象科目の内訳が異なります。
- 「外国書講読Ⅰ・Ⅱ」は、卒業までにそれぞれ2科目まで修得することができます（合計8単位）。なお、同一年度に複数履修することができます。
- 「特殊講義」は、科目名の後ろに続く名称が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可）。
- 1年次配当の「基礎文献講読」、2年次配当の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3年次配当の「専門ゼミナールⅠ(A・B)」「Global AffairsⅠ・Ⅱ」は該当年次のみ履修可能です。
- 科目名の最後に●がついている科目は必履修科目です。

政治学科 国際政治・地域コース

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	
専 門 科 目	入門科目 政治学の世界● 日本政治の基礎● 政治理論の基礎● 国際政治の基礎● 政治データ分析入門Ⅰ● 政治データ分析入門Ⅱ● 法学の基礎 憲法入門 行政法入門				20	
	演習科目 基礎文献講読●	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	専門ゼミナールⅠA (4) Global AffairsⅠ 専門ゼミナールⅠB (4) Global AffairsⅡ 外国書講読Ⅰ 外国書講読Ⅱ		専門ゼミナールⅡA (4) Global AffairsⅢ 専門ゼミナールⅡB (4) Global AffairsⅣ
	選択必修科目 コース共通科目	憲法統治機構論 憲法人権保障論Ⅰ	憲法人権保障論Ⅱ 民法入門	民法総則 経済原論Ⅰ	経済原論Ⅱ	56
	所属コース科目			平和研究	地域と公共政策	
	所属コース科目	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ	国際政治Ⅰ 国際政治Ⅱ	国際紛争論 国際統合論	国際法入門 国際法Ⅰ	20
				安全保障論 グローバルガバナンス論 国際紛争処理法	アジア地域研究Ⅰ アジア地域研究Ⅱ アメリカ地域研究Ⅰ アメリカ地域研究Ⅱ ヨーロッパ地域研究Ⅰ ヨーロッパ地域研究Ⅱ 国際法Ⅱ 国際人権法 国際環境法	
	所属コース外科目	国家論 デモクラシー論	日本政治史Ⅰ 日本政治史Ⅱ	西洋政治史Ⅰ 西洋政治史Ⅱ	ナショナリズム論 政治体制論	8
				議会政治論 政治過程論 政治哲学	環境政治論 ジェンダー政治論 ジャーナリズム論 西洋政治思想史Ⅰ 西洋政治思想史Ⅱ 日本政治思想史Ⅰ 日本政治思想史Ⅱ	
		現代日本政治論Ⅰ 現代日本政治論Ⅱ	行政学Ⅰ 行政学Ⅱ	行政法Ⅰ 行政法Ⅱ	日本外交論Ⅰ 日本外交論Ⅱ	16
				公共政策Ⅰ 公共政策Ⅱ 社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ まちづくり論 災害対策論 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 地方自治法Ⅰ 地方自治法Ⅱ	
選択科目	特殊講義 (1) 特殊講義				18	
	刑法入門 商法入門	労働法入門 租税法入門	Japanese Law and Society International Law	外国法入門 簿記論Ⅰ (4)		
			行政救済法Ⅰ 行政救済法Ⅱ 法社会学Ⅰ 法社会学Ⅱ 法哲学Ⅰ 法哲学Ⅱ 日本法制史Ⅰ 日本法制史Ⅱ 西洋法制史Ⅰ 西洋法制史Ⅱ 東洋法制史Ⅰ 東洋法制史Ⅱ ローマ法Ⅰ ローマ法Ⅱ 英米法Ⅰ 英米法Ⅱ EU法Ⅰ EU法Ⅱ ヨーロッパ大陸法Ⅰ ヨーロッパ大陸法Ⅱ アジア法Ⅰ アジア法Ⅱ	警察行政法 比較憲法Ⅰ 比較憲法Ⅱ 労働法Ⅰ 租税法Ⅱ 物権法Ⅰ 物権法Ⅱ 債権総論Ⅰ 債権総論Ⅱ 債権各論Ⅰ 債権各論Ⅱ 親族法相続法Ⅰ 親族法相続法Ⅱ 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ コーポレートガバナンス コーポレートファイナンス 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 刑法各論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 犯罪学	刑事政策 少年法 環境法 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 労働法展開Ⅰ 労働法展開Ⅱ 経済法Ⅰ 経済法Ⅱ 知的財産法Ⅰ 知的財産法Ⅱ 社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ 国際経済法 国際取引法Ⅰ 国際取引法Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ	ビジネス入門 マーケティング (4) ビジネス英語A ビジネス英語B 現代経済基礎 現代商品論 (4) グローバル企業 データビジュアライゼーション 地域研究 (カナダ・アメリカ) 地域研究 (ラテンアメリカ) 地域研究 (ヨーロッパ) 地域研究 (アジア) 地域研究 (中国)

- 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までには124単位を修得している場合も同様です。
- 専門科目において、卒業要件単位を超えて修得した選択必修科目の単位は、選択科目の単位として算入されます。
- 2, 3, 4年次配当の選択必修科目は、コースによって対象科目の内訳が異なります。
- 「外国書講読Ⅰ・Ⅱ」は、卒業までにそれぞれ2科目まで修得することができます（合計8単位）。なお、同一年度に複数履修することができます。
- 「特殊講義」は、科目名の後ろに続く名称が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可）。
- 1年次配当の「基礎文献講読」、2年次配当の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3年次配当の「専門ゼミナールⅠ（A・B）」「Global AffairsⅠ・Ⅱ」は該当年次のみ履修可能です。
- 科目名の最後に●がついている科目は必履修科目です。

政治学科 日本政治・政策コース

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位			
専 門 科 目	入門科目	政治学の世界● 日本政治の基礎● 政治理論の基礎● 国際政治の基礎● 政治データ分析入門Ⅰ● 政治データ分析入門Ⅱ● 法学の基礎 憲法入門 行政法入門			20			
	演習科目	基礎文献講読●	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ		専門ゼミナールⅠA (4) Global AffairsⅠ Global AffairsⅡ	専門ゼミナールⅡA (4) Global AffairsⅢ Global AffairsⅣ	
	選択必修科目	憲法統治機構論 憲法人権保障論Ⅰ		憲法人権保障論Ⅱ 民法入門	民法総則 経済原論Ⅰ	経済原論Ⅱ		
	所属コース科目	現代日本政治論Ⅰ 現代日本政治論Ⅱ		行政学Ⅰ 行政学Ⅱ	行政法Ⅰ 行政法Ⅱ	日本外交論Ⅰ 日本外交論Ⅱ		
	所属コース科目			公共政策Ⅰ 公共政策Ⅱ 社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ	まちづくり論 災害対策論 地方自治論Ⅰ 地方自治法Ⅰ 地方自治論Ⅱ 地方自治法Ⅱ		
	所属コース科目	国家論 デモクラシー論	日本政治史Ⅰ 日本政治史Ⅱ	西洋政治史Ⅰ 西洋政治史Ⅱ	ナショナリズム論 政治体制論			
	所属コース科目	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ		国際政治史Ⅰ 国際政治史Ⅱ	国際紛争論 国際統合論	国際法入門 国際法Ⅰ		
	所属コース科目			安全保障論 グローバルガバナンス論 国際紛争処理法	アジア地域研究Ⅰ アジア地域研究Ⅱ アメリカ地域研究Ⅰ	アメリカ地域研究Ⅱ ヨーロッパ地域研究Ⅰ ヨーロッパ地域研究Ⅱ		
	所属コース科目	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ		国際政治史Ⅰ 国際政治史Ⅱ	国際紛争論 国際統合論	国際法入門 国際法Ⅰ		
	所属コース科目			安全保障論 グローバルガバナンス論 国際紛争処理法	アジア地域研究Ⅰ アジア地域研究Ⅱ アメリカ地域研究Ⅰ	アメリカ地域研究Ⅱ ヨーロッパ地域研究Ⅰ ヨーロッパ地域研究Ⅱ		
選 択 科 目	特殊講義 (1) 特殊講義					18		
	刑事法入門 商法入門	労働法入門 租税法入門	Japanese Law and Society International Law		外国法入門 簿記論Ⅰ (4)			
選 択 科 目	行政救済法Ⅰ 行政救済法Ⅱ 法社会学Ⅰ 法社会学Ⅱ 法哲学Ⅰ 法哲学Ⅱ 日本法制史Ⅰ 日本法制史Ⅱ 西洋法制史Ⅰ 西洋法制史Ⅱ 東洋法制史Ⅰ 東洋法制史Ⅱ ローマ法Ⅰ ローマ法Ⅱ 英米法Ⅰ 英米法Ⅱ EU法Ⅰ EU法Ⅱ ヨーロッパ大陸法Ⅰ ヨーロッパ大陸法Ⅱ アジア法Ⅰ アジア法Ⅱ					警察行政法 比較憲法Ⅰ 比較憲法Ⅱ 労働法Ⅰ 租税法Ⅱ 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 労働法展開Ⅰ 労働法展開Ⅱ 債権総論Ⅰ 債権総論Ⅱ 債権各論Ⅰ 債権各論Ⅱ 親族法相続法Ⅰ 親族法相続法Ⅱ 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ コーポレートガバナンス コーポレートファイナンス 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 刑法各論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 犯罪学	刑事政策 少年法 環境法 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 労働法展開Ⅰ 労働法展開Ⅱ 経済法Ⅰ 経済法Ⅱ 知的財産法Ⅰ 知的財産法Ⅱ 社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ 国際経済法 国際取引法Ⅰ 国際取引法Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ	ビジネス入門 マーケティング (4) ビジネス英語A ビジネス英語B 現代経済基礎 現代商品論 (4) グローバル企業 データヴィジュアルイゼーション 地域研究 (カナダ・アメリカ) 地域研究 (ラテンアメリカ) 地域研究 (ヨーロッパ) 地域研究 (アジア) 地域研究 (中国)

- 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までには124単位を修得している場合も同様です。
- 専門科目において、卒業要件単位を超えて修得した選択必修科目の単位は、選択科目の単位として算入されます。
- 2, 3, 4年次配当の選択必修科目は、コースによって対象科目の内訳が異なります。
- 「外国書講読Ⅰ・Ⅱ」は、卒業までにそれぞれ2科目まで修得することができます（合計8単位）。なお、同一年度に複数履修することができます。
- 「特殊講義」は、科目名の後ろに続く名称が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可）。
- 1年次配当の「基礎文献講読」、2年次配当の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3年次配当の「専門ゼミナールⅠ（A・B）」「Global AffairsⅠ・Ⅱ」は該当年次のみ履修可能です。
- 科目名の最後に●がついている科目は必履修科目です。

経営学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of BUSINESS ADMINISTRATION

専修大学

2026 (令和 8) 年度 経営学部経営学科入学者〈専門科目一覧〉

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	必修	備 考	
基礎科目	経営入門A 経営入門B 会計入門A 会計入門B 経済入門 マーケティング入門A マーケティング入門B 情報処理入門 情報システム入門 統計入門	経営管理総論A 経営管理総論B			24	必修	・3年次への進級には、基礎科目(必修)12科目24単位のうち、9科目18単位以上の修得が必要です。	
演習科目	基礎系	簿記基礎演習 論理基礎演習	情報リテラシ基礎演習 グローバル基礎演習		10		・専門演習および専門演習コラボは、授業で扱う内容を()で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができ、修得した単位はそれぞれの卒業要件単位に算入されます(同一年度の複数履修も可)。 ・ゼミナールAおよびBは、原則として同一教員のゼミナールを2年続けて履修することになります。	
	専門系	経営数学演習(線形代数A)	経営数学演習(線形代数B)	経営数学演習(微分積分A)		経営数学演習(微分積分B)		
	総合系		調査の基本 データ分析演習(統計) データ分析演習(機械学習)	データ分析演習(数理最適化) 数理統計学演習		商業簿記応用演習 工業簿記応用演習		
基幹科目	MA独自必修テーマ 戦略と組織のマネジメント	企業経済学 経営学史 経営学とキャリア開発 ゲーム理論	コーポレート・ガバナンス 産業組織論 組織行動論 ファミリービジネス論	ミクロ経済学 リーダーシップ論	12		・ゼミナールBを履修する場合は、原則として卒業論文を履修しなければなりません。 ・学部共通テーマから2つのテーマを選択しなければなりません。	
			環境経営論 経営システム論 経営戦略論A 経営戦略論B	経営組織論 組織変革論 人的資源管理論A 人的資源管理論B				
専門科目	学部共通テーマ グローバルマネジメント		異文化コミュニケーション 応用マクロ経済学 国際ビジネス概論 新興市場ビジネス論	地域研究 日本経営史 ビジネス英語 マクロ経済学	留学プログラムA (1) 留学プログラムB 留学プログラムC (3) 留学プログラムD (4)	76	・選択した2テーマにおいて、1テーマにつき最低8単位以上、2テーマ計16単位以上を修得しなければなりません。 ・留学プログラムA～Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。	
	学部共通テーマ 会計・ファイナンス		管理会計 企業法と会計情報 金融論A 金融論B 経営分析	原価計算 工業簿記論 財務管理論A 財務管理論B 商業簿記論A	商業簿記論B 証券論 税金の基礎 ファイナンスの基礎		・留学プログラムA～Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。	
	学部共通テーマ マーケティング		マーケティング戦略論A マーケティング戦略論B	マーケティング・マネジメント 流通論	流通戦略論		・寄付講座および特殊講義は、授業で扱う内容を()で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができます。	
	学部共通テーマ ICTマネジメント		オペレーションズ・リサーチ 経営情報論A 経営情報論B シミュレーション論 情報管理概論A	情報管理概論B 情報システム基礎 情報システムの分析 情報システムの開発 情報セキュリティ	データベース論 プログラミング基礎 プログラミング(システム開発)		・演習科目、基幹科目、発展科目、応用科目および関連科目の卒業要件単位52単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。	
				情報通信ネットワーク論A 情報通信ネットワーク論B プログラミング(WWW)	財務諸表論 財務会計論 連結会計			
応用科目			アントレプレナーシップ論 イノベーション論A イノベーション論B 企業者史	企業論 経営倫理 産業・企業調査 製品開発論	ベンチャー・ビジネス論 マーケティング・リサーチ			
				事業創造論 消費者行動論A	消費者行動論B ブランド論			
関連科目	寄付講座	寄付講座 (1)	特殊講義	特殊講義 (1)				
		憲法A 憲法B	民法A 民法B	会社法A 会社法B 経済法A	経済法B 労働法A 労働法B			

【重要】4年次で修得しなければならない単位数 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、12単位以上を必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までに124単位を修得している場合も同様です。

自由選択 修得要件単位	自由選択修得要件単位には、海外語学研修、単位互換科目、全学公開科目、教職課程科目(対象科目のみ)、所定の卒業要件単位数を超えて修得した社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、専門科目の単位が算入されます。	24				
各年次における 履修上限単位	44	44	44	44	卒業要件単位	124

2026 (令和 8) 年度 経営学部ビジネスデザイン学科 入学者 〈専門科目一覧〉

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区 分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	必修	備 考	
基礎科目	経営入門A 経営入門B 会計入門A 会計入門B 経済入門 マーケティング入門A マーケティング入門B 情報処理入門 情報システム入門 統計入門	経営管理総論A 経営管理総論B			24	必修	・3年次への進級には、基礎科目(必修)12科目24単位のうち、9科目18単位以上の修得が必要です。	
演習科目	基礎系	簿記基礎演習 論理基礎演習	情報リテラシ基礎演習 グローバル基礎演習		4	必修	・専門演習および専門演習コラボは、授業で扱う内容を () で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができ、修得した単位はそれぞれの卒業要件単位に算入されます(同一年度の複数履修も可)。 ・ゼミナールAおよびBは、原則として同一教員のゼミナールを2年続けて履修することになります。 ・ゼミナールBを履修する場合は、原則として卒業論文を履修しなければなりません。 ・学部共通テーマから1つのテーマを選択しなければなりません。	
		経営数学演習(線形代数A) ビジネスデザイン基礎演習A	経営数学演習(線形代数B) ビジネスデザイン基礎演習B	経営数学演習(微積分A) 経営数学演習(微積分B)				
	専門系		調査の基本 データ分析演習(統計) データ分析演習(機械学習)	データ分析演習(数理最適化) 数理統計学演習	商業簿記応用演習 工業簿記応用演習	14		
	総合系		専門演習 ゼミナールA (4)	グローバルリテラシ演習 専門演習コラボ ゼミナールB (4) 卒業論文 (4)				
基幹科目	MD独自必修テーマ 商品開発と事業創造	アントレプレナーシップ論 イノベーション論A イノベーション論B 企業者史	企業論 経営倫理 産業・企業調査 製品開発論	ベンチャー・ビジネス論 マーケティング・リサーチ	12			
専門科目	学部共通テーマ グローバルマネジメント		異文化コミュニケーション 応用マクロ経済学 国際ビジネス概論 新興市場ビジネス論	地域研究 日本経営史 ビジネス英語 マクロ経済学	留学プログラムA (1) 留学プログラムB 留学プログラムC (3) 留学プログラムD (4)	76	・選択した1テーマにおいて、最低8単位以上を修得しなければなりません。 ・留学プログラムA~Dは、国際交流センターが提供する留学プログラムを修了した場合に単位認定の対象となる科目です(複数認定も可)。 ・寄付講座および特殊講義は、授業で扱う内容を () で併記し、その内容が異なる場合には、それぞれ履修することができます。 ・演習科目、基幹科目、発展科目、応用科目および関連科目の卒業要件単位52単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。	
	学部共通テーマ 会計・ファイナンス		管理会計 企業法と会計情報 金融論A 金融論B 経営分析	原価計算 工業簿記論 財務管理論A 財務管理論B 商業簿記論A	商業簿記論B 証券論 税金の基礎 ファイナンスの基礎			
	学部共通テーマ マーケティング		マーケティング戦略論A マーケティング戦略論B	マーケティング・マネジメント 流通論	流通戦略論			52
	学部共通テーマ ICTマネジメント		オペレーションズ・リサーチ 経営情報論A 経営情報論B シミュレーション論 情報管理概論A	情報管理概論B 情報システム基礎 情報システムの分析 情報システムの開発 情報セキュリティ	データベース論 プログラミング基礎 プログラミング(システム開発)			
				情報通信ネットワーク論A 情報通信ネットワーク論B プログラミング(WWW)	財務諸表論 税務会計論 連結会計			
発展科目				コスト・マネジメント	8			
応用科目		企業経済学 経営学史 経営学とキャリア開発 ゲーム理論	コーポレート・ガバナンス 産業組織論 組織行動論 ファミリービジネス論	ミクロ経済学 リーダーシップ論				
関連科目	寄付講座	寄付講座 (1)	特殊講義	特殊講義 (1)				
		憲法A 憲法B	民法A 民法B	会社法A 会社法B 経済法A	経済法B 労働法A 労働法B			

【重要】 4年次で修得しなければならない単位数 4年次では、4年次に配当されている専門科目を、12単位以上を必ず修得しなければなりません。これは、3年次終了時までに124単位を修得している場合も同様です。

自由選択 修得要件単位	自由選択修得要件単位には、海外語学研修、単位互換科目、全学公開科目、所定の卒業要件単位数を超えて修得した社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、専門科目の単位が算入されます。	24
----------------	---	----

各年次における 履修上限単位	44	44	44	44	卒業要件単位数	124
-------------------	----	----	----	----	---------	-----

商 学 部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of COMMERCE

専修大学

(2) 商学部マーケティング学科 専門科目一覧

()内は単位数を示す
 M マーケティング F ファイナンス GB グローバルビジネス MA マーケットアナリティクス
 ◎ 選択必修 △ 選択

	1年次(単位)	2年次(単位)	3年次(単位)				4年次(単位)	卒業要件 単 位	備 考
			コース M F GB MA	コース M F GB MA	コース M F GB MA	コース M F GB MA			
選 科 基 礎 目	ビジネス数理基礎A (2) ◎ ビジネス数理基礎B (2) ◎ 情報基礎Ⅰ (2) ◎ 情報基礎Ⅱ (2) ◎ 商学基礎 (4) ◎ 簿記論Ⅰ (4) ◎						12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。	
	商業史入門 (2) ◎ ビジネス入門 (2) ◎ 現代経済基礎 (2) ◎	専門基礎ゼミナール (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎					22	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入していません。 「ミクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目 「マクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目	
		マーケティング (4) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ビジネス基礎 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ 金融サービス (4) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ 情報の科学と技術 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ 統計学 (4) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ マクロ経済学基礎 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ミクロ経済学基礎 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ 財務会計論 (4) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎							
必 修 目	マーケティングリサーチ (4) ◎ △ △ △ ◎ 現代商品論 (4) ◎ △ △ △ △ ◎ 流通政策 (4) ◎ △ △ △ △ △ ◎ 金融政策 (4) △ ◎ △ △ △ ◎ 金融論 (4) △ ◎ △ △ △ ◎ 金融リスク入門 (2) △ ◎ △ ◎ △ ◎ 金融データサイエンス (4) △ ◎ △ ◎ △ ◎ 現代企業 (2) △ △ △ ◎ ◎		ビジネス英語A (2) △ △ △ ◎ ◎ ビジネス英語B (2) △ △ △ ◎ ◎ グローバル企業 (2) △ △ △ ◎ ◎ プロジェクトマネジメント (2) △ △ △ ◎ ◎ 情報社会と情報倫理 (2) △ △ △ ◎ ◎ 情報ネットワーク (2) △ △ △ ◎ ◎ プログラミングA (4) △ △ △ ◎ ◎ 現代経済のトピックス (2) △ △ △ ◎ ◎	マクロ経済学応用 (2) △ ◎ △ △ ◎ ミクロ経済学応用 (2) △ ◎ △ △ ◎ データマイニング・リサーチ (2) △ △ △ ◎ ◎ 経済データ分析入門 (2) △ ◎ △ △ ◎ オペレーション・リサーチ (2) ◎ ◎ △ △ ◎ 数理ビジネス分析 (2) △ ◎ △ △ ◎	12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・卒業要件単位12単位は、所属コースに配当されている選択必修科目(◎)の中から修得しなければなりません。			
			流通論 (4) ◎ △ △ △ ◎ 世界商業史 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ グローバルマーケティング論 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ ソーシャルマーケティング (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 国際金融 (4) △ ◎ △ △ ◎ 証券論 (4) △ ◎ △ △ △ ◎ 日本経済と金融 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ リスクと保険Ⅰ (2) △ ◎ △ △ △ ◎ リスクと保険Ⅱ (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 国際分業と貿易 (4) △ △ △ △ △ ◎	起業と経営 (2) △ △ △ ◎ △ 経営戦略A (2) △ △ △ ◎ △ 経営戦略B (2) △ △ △ ◎ △ グローバルビジネスとトレード (4) △ △ △ △ △ ◎ コーポレートガバナンス (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際経営(英語) (2) △ △ △ ◎ △ 国際経営(日本語) (2) △ △ △ ◎ △ 中小企業経営Ⅰ (2) △ △ △ ◎ △ 中小企業経営Ⅱ (2) △ △ △ ◎ △ 環境経営論 (2) △ △ △ △ △ ◎					
科 目		ゼミナール1 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	ゼミナール2 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ゼミナール3 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	ゼミナール4 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ゼミナール5 (2) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	12	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。			
			商業経営 (4) ◎ △ △ △ △ ◎ 消費者行動 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ マーケティング情報 (2) ◎ △ △ ◎ ◎ マーケティングコミュニケーション (4) ◎ △ △ △ △ ◎ 環境マーケティング (2) ◎ △ △ △ △ ◎ サービスマーケティング (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 商品評価 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ ロジスティクス論 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ サプライチェーンマネジメント (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 国際流通論 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 産業立地論 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 地域マーケティング (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 商品開発A (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 商品開発B (2) ◎ △ △ △ △ ◎ モデルとデータ分析 (2) ◎ △ △ △ △ ◎ データ分析とAI (2) ◎ △ △ △ △ ◎ マーケティングワークショップ (2) ◎ △ △ △ △ ◎ 経営分析論 (4) △ △ △ △ △ ◎ 企業金融 (2) △ ◎ △ ◎ ◎ 投資理論 (2) △ △ △ ◎ ◎ 財務情報分析論 (4) △ ◎ △ ◎ ◎ デリバティブ (2) △ △ △ △ △ ◎ 金融システム (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 金融商品取引法 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ ファイナンシャルプランニング (2) △ △ △ ◎ ◎ 企業倫理 (2) △ ◎ △ ◎ ◎	情報と戦略 (2) △ ◎ △ △ ◎ 意思決定会計論 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 企業のリスク分析と対応 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 外国為替論 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 企業の信用リスク評価 (2) △ ◎ △ △ △ ◎ リスクとファイナンス (2) △ ◎ △ △ △ ◎ 企業組織 (2) △ △ △ △ △ ◎ ビジネスプランニング (2) △ △ △ ◎ △ 人的資源Ⅰ (2) △ △ △ ◎ △ 人的資源Ⅱ (2) △ △ △ ◎ △ 多国籍企業 (2) △ △ △ ◎ △ 比較経営 (2) △ △ △ ◎ △ 情報システム (4) △ △ △ △ △ ◎ ビジネス英語C (2) △ △ △ △ △ ◎ ビジネス英語D (2) △ △ △ △ △ ◎ プログラミングB (4) △ △ △ △ △ ◎ 環境経済学 (2) ◎ △ △ △ ◎ 環境政策論 (2) △ △ △ △ △ ◎ 交通と観光 (2) △ △ △ △ △ ◎ 通信とネットワーク (2) △ △ △ △ △ ◎ 空間経済分析 (2) ◎ △ △ △ ◎ 経済データ分析応用 (2) △ △ △ △ △ ◎ ビジネスシミュレーションA (2) △ ◎ △ △ ◎ ビジネスシミュレーションB (2) △ ◎ △ △ ◎ 経済政策論 (2) △ △ △ △ △ ◎ ビジネスアナリティクス実践 (2) △ ◎ △ ◎ ◎	22	・卒業要件単位22単位は、所属コースに配当されている選択必修科目(◎)の中から修得しなければなりません。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入していません。 「環境政策論」 「環境経営論」が前提科目			
選 科 目	憲法Ⅰ (2) △ 民法Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 憲法Ⅱ (2) △ 民法Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎		会計演習Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 会計演習Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎	会計演習Ⅲ (2) △ △ △ △ △ ◎ 会計演習Ⅳ (2) △ △ △ △ △ ◎	16	・卒業要件単位16単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・特殊講義は、12単位まで修得することができ、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・国際体験学習Ⅰ～Ⅶは、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 ・会計演習Ⅰ～Ⅶは、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。			
	簿記論Ⅱ (4) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅲ (2) △ △ △ △ △ ◎	国際体験学習Ⅳ (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅴ (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅵ (2) △ △ △ △ △ ◎ 国際体験学習Ⅶ (2) △ △ △ △ △ ◎	特殊講義 (1) △ △ △ △ △ ◎ 戦略的マネジメントコントロール論 (2) △ △ △ △ △ ◎ デジタル技術と会計 (4) △ △ △ △ △ ◎ 経済法Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 経済法Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎ 知的財産法Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 知的財産法Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎ 経済政策Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 経済政策Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎ 労働法Ⅰ (2) △ △ △ △ △ ◎ 労働法Ⅱ (2) △ △ △ △ △ ◎ 移動と交流の文化史 (2) △ △ △ △ △ ◎ 比較文化 (2) △ △ △ △ △ ◎ 越境する文化 (2) △ △ △ △ △ ◎ 環境と文化 (2) △ △ △ △ △ ◎ 現代文化論 (2) △ △ △ △ △ ◎ メディア文化論 (2) △ △ △ △ △ ◎						

【重要】4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは3年次終了時までには124単位修得している場合も同様です。

(3) 商学部会計学科 専門科目一覧

()内は単位数を示す

		1年次(単位)	2年次(単位)	3年次(単位)	4年次(単位)	卒業要件 単 位	備 考
選 択 必 修 科 目	学部 基礎 科目	ビジネス数理基礎A (2) ビジネス数理基礎B (2) 情報基礎Ⅰ (2) 情報基礎Ⅱ (2) 商学基礎 (4) 簿記論Ⅰ (4)				12	・卒業要件単位12単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。
	学 科 基 礎 科 目	簿記論Ⅱ (4) 簿記論Ⅲ (4) 原価計算論Ⅰ (4) 原価計算論Ⅱ (4) 財務会計論 (4) 管理会計論 (4) 会計演習Ⅰ (2) 会計演習Ⅱ (2) 会計演習Ⅲ (2) 会計演習Ⅳ (2)				22	・卒業要件単位22単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・会計演習Ⅰ～Ⅳは、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。
	展 開 科 目		簿記論Ⅳ (4) 会計基準論 (4) 連結会計論 (4) 原価計算論Ⅲ (2)			34	・卒業要件単位34単位を超えて修得した単位は、選択科目に算入されます。 ・会計演習Ⅴ・Ⅵは、会計資格の単位認定を申請した場合に認定されます。なお、また、認定された単位は、4年次で修得しなければならない専門科目8単位には含まれません。
	目		会計専門基礎ゼミナール (2) ゼミナール1 (2)	ゼミナール2 (2) ゼミナール3 (2)	ゼミナール4 (2) ゼミナール5 (2)		
選 択 科 目	憲法Ⅰ (2)	憲法Ⅱ (2)	民法Ⅰ (2)	民法Ⅱ (2)		16	・卒業要件単位16単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・次の科目を履修登録する際には、前提科目(すでに単位を修得済みが条件)を導入しています。 「ミクロ経済学基礎」が前提科目 「マクロ経済学基礎」 「現代経済基礎」が前提科目 「環境政策論」 「環境経営論」が前提科目 ・特殊講義は、12単位まで修得することができ、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同一年度での複数履修も可能)。 ・国際体験学習Ⅰ～Ⅷは、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。
	マーケティングリサーチ (4) マーケティングリサーチ (4) 現代企業 (2) 金融サービス (4) 情報社会と情報倫理 (2) 現代商品論 (4) 国際体験学習Ⅰ (2) 国際体験学習Ⅱ (2) 国際体験学習Ⅲ (2) 国際体験学習Ⅳ (2) 国際体験学習Ⅴ (2) 国際体験学習Ⅵ (2)	国際体験学習Ⅶ (2) 国際体験学習Ⅷ (2) キャリアディベロップメント (2) 金融商品取引法 (2) 商取引法 (2) 情報ネットワーク (2) 会社法Ⅰ (2) 会社法Ⅱ (2) 金融政策 (2) 情報の科学と技術 (2) 商業史入門 (2) ビジネス入門 (2)	人的資源Ⅱ (2) 中小企業経営Ⅰ (2) 中小企業経営Ⅱ (2) 多国籍企業 (2) 比較経営 (2) 現代経済のトピックス (2) マクロ経済学基礎 (2) マクロ経済学応用 (2) ミクロ経済学基礎 (2) ミクロ経済学応用 (2) 日本経済と金融 (2) 環境経営論 (2) 環境経済学 (2) 環境政策論 (2) 交通と観光 (2) 通信とネットワーク (2) リスクと保険Ⅰ (2) リスクと保険Ⅱ (2) 商品開発A (2) 商品開発B (2) モデルとデータ分析 (2) データ分析とAI (2) ソーシャルマーケティング (2) マーケティングワークショップ (2) 外国為替論 (2) 企業の信用リスク評価 (2) リスクとファイナンス (2) 空間経済分析 (2) 経済データ分析応用 (2) ビジネスシミュレーションA (2) ビジネスシミュレーションB (2) 経済政策論 (2) ビジネスアナリティクス実践 (2) 経済法Ⅰ (2) 経済法Ⅱ (2) 知的財産法Ⅰ (2) 知的財産法Ⅱ (2) 国際取引法Ⅰ (2) 国際取引法Ⅱ (2) 環境法 (2) 比較文化 (2) 環境と文化 (2) 現代社会と多様性 (2)				

【重要】4年次では、4年次に配当されている専門科目を、8単位以上必ず修得しなければなりません。これは3年次終了時までに124単位修得している場合も同様です。

文 学 部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of LETTERS

専修大学

文学部日本文学文化学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考			
社会知性基盤科目	専修大学入門ゼミナール				2	分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成 (履修) することができます。			
	データ分析入門								
	データサイエンス入門								
	データサイエンス実践								
		A I基礎							
		データサイエンス活用演習							
	キャリア入門								
	キャリアマッチング								
	キャリア長期体験 (プロジェクト型)								
			キャリア科目1						
		キャリア科目2							
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)					
S i応用科目		分野横断科目							
		S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)					
			S iゼミナール論文						
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点 歴史と地域・民衆	歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学 論理学入門	ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も科目にかかわらず履修することができます (修得単位の上限はありません)。			
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシック 企業と会計					
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2 (4)	生物科学C1 生物科学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 生物科学B1 宇宙地球科学B1 生物科学B2 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 物理学A1 物理学A2	物理学B1 物理学B2 数理学A1 数理学A2 数理学B1 数理学B2 数理学C1 数理学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2				
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)					2		
			アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サスティナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)					
	英語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					4	・General Englishは、英語1(A・B群)を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。	
		B Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)							
			English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
				Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b				
				General English (1)					
外国語科目	ドイツ語初級1 a (1) ドイツ語初級1 b (1) ドイツ語初級2 a (1) ドイツ語初級2 b (1) フランス語初級1 a (1) フランス語初級1 b (1) フランス語初級2 a (1) フランス語初級2 b (1) 中国語初級1 a (1) 中国語初級1 b (1) 中国語初級2 a (1) 中国語初級2 b (1) スペイン語初級1 a (1) スペイン語初級1 b (1) スペイン語初級2 a (1) スペイン語初級2 b (1) ロシア語初級1 a (1) ロシア語初級1 b (1) ロシア語初級2 a (1) ロシア語初級2 b (1) インドネシア語初級1 a (1) インドネシア語初級1 b (1) インドネシア語初級2 a (1) インドネシア語初級2 b (1) コリア語初級1 a (1) コリア語初級1 b (1) コリア語初級2 a (1) コリア語初級2 b (1)				8	同一言語の科目をすべて (4科目4単位) 履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 ・各科目2単位まで修得することができ、同一科目を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます、合計4単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択ドイツ語1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・導入と選択1 a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。			
	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1) ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1) コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)	ドイツ語中級1 a (1) ドイツ語中級1 b (1) ドイツ語中級2 a (1) ドイツ語中級2 b (1) フランス語中級1 a (1) フランス語中級1 b (1) フランス語中級2 a (1) フランス語中級2 b (1) 中国語中級1 a (1) 中国語中級1 b (1) 中国語中級2 a (1) 中国語中級2 b (1) スペイン語中級1 a (1) スペイン語中級1 b (1) スペイン語中級2 a (1) スペイン語中級2 b (1) ロシア語中級1 a (1) ロシア語中級1 b (1) ロシア語中級2 a (1) ロシア語中級2 b (1) インドネシア語中級1 a (1) インドネシア語中級1 b (1) インドネシア語中級2 a (1) インドネシア語中級2 b (1) コリア語中級1 a (1) コリア語中級1 b (1) コリア語中級2 a (1) コリア語中級2 b (1)							
			ドイツ語上級1 a (1) ドイツ語上級1 b (1) フランス語上級1 a (1) フランス語上級1 b (1) 中国語上級1 a (1) 中国語上級1 b (1) スペイン語上級1 a (1) スペイン語上級1 b (1)	ロシア語上級1 a (1) ロシア語上級1 b (1) インドネシア語上級1 a (1) インドネシア語上級1 b (1) コリア語上級1 a (1) コリア語上級1 b (1)					
			選択ドイツ語1 a (1) 選択ドイツ語1 b (1) 選択フランス語1 a (1) 選択フランス語1 b (1) 選択中国語1 a (1) 選択中国語1 b (1)	選択スペイン語1 a (1) 選択スペイン語1 b (1) 選択ロシア語1 a (1) 選択ロシア語1 b (1) 選択アラビア語1 a (1) 選択アラビア語1 b (1)			選択イタリア語1 a (1) 選択イタリア語1 b (1)		
		世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)			世界の言語と文化 (コリア語)		
			言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)			言語文化研究 (アメリカ)		
	海外語学研修	海外語学短期研修1 (外国語)	海外語学短期研修2 (外国語)					修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2が認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。	
			海外語学中期研修1 (外国語) 海外語学中期研修2 (外国語) 海外語学中期研修3 (外国語)	海外語学中期研修4 (外国語) 海外語学中期研修5 (外国語) 海外語学中期研修6 (外国語)			海外語学中期研修7 (外国語) 海外語学中期研修8 (外国語)		
		単位互換科目	単位互換1	単位互換2 (4)			単位互換3 (1)		

自由選択修得要件単位

28

文学部英語英米文学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	S1基礎科目	専修大学入門セミナー				2	・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます(同年度での複数履修も可能)。 ・S1ゼミナール論文は、S1ゼミナールの単位の修得し、次年度以降に同一教員のS1ゼミナールを履修する場合に作成(履修)することができます。
		データ分析入門					
		データサイエンス入門					
		データサイエンス実践					
			A1基礎				
			データサイエンス活用演習				
		キャリア入門					
		キャリアマッチング					
		キャリア長期体験(プロジェクト型)					
			キャリア科目1				
	キャリア科目2						
S1応用科目	グローバルスタディ(1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ(3)	グローバルスタディ(4)			
		分野横断科目					
		S1ゼミナール1(4)	S1ゼミナール2(4)	S1ゼミナール3(4)			
			S1ゼミナール論文				
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文化	歴史と社会・文化	ことばと論理			・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位の修得していなければ、履修することができます。 ・アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます(修得単位の上限はありません)。
		日本の文学	基礎心理学入門	芸術学入門			
	世界の文学	応用心理学入門	異文化理解の人類学				
	文学と現代世界	哲学	ジャーナリズムと現代				
	歴史の視点	倫理学					
	歴史と地域・民衆	論理学入門					
	社会科学基礎科目	日本国憲法	地理学への招待	子どもと社会の教育学			
		法と社会	社会学入門	情報社会			
	政治学入門	現代の社会学	はじめての経営				
	政治の世界	社会学論	マーケティングベーシック				
経済と社会	社会思想	企業と会計					
現代の経済	教育学入門						
自然科学系科目	あなたと自然科学						
	自然科学実験演習1	生物学C1	化学A1	物理学B1	数理学C1		
自然科学実験演習2(4)	生物学C2	化学A2	物理学B2	数理学C2			
生物学A1	宇宙地球科学A1	化学B1	数理学A1	科学論A1			
生物学A2	宇宙地球科学A2	化学B2	数理学A2	科学論A2			
生物学B1	宇宙地球科学B1	物理学A1	数理学B1	科学論B1			
生物学B2	宇宙地球科学B2	物理学A2	数理学B2	科学論B2			
保健体育系科目	スポーツリテラシー(1)						
	スポーツウェルネス(1)						
		アドバンススポーツ	スポーツ論(サステイナブルスポーツ)				
		スポーツ論(ウェルビーイング)	スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)				
英語	Computer Aided Instruction a(1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a(1)	English Presentation a				
	Computer Aided Instruction b(1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b(1)	English Presentation b				
		Advanced English a	English Writing a				
		Advanced English b	English Writing b				
		English Language and Cultures a					
		English Language and Cultures b					
外国語科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級1a(1)	(1)			・同一言語の科目をすべて(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。	
		ドイツ語初級1b(1)	(1)				
		ドイツ語初級2a(1)	(1)				
		ドイツ語初級2b(1)	(1)				
		フランス語初級1a(1)	(1)				
		フランス語初級1b(1)	(1)				
		フランス語初級2a(1)	(1)				
		フランス語初級2b(1)	(1)				
		中国語初級1a(1)	(1)				
		中国語初級1b(1)	(1)				
中国語初級2a(1)	(1)						
中国語初級2b(1)	(1)						
スペイン語初級1a(1)	(1)						
スペイン語初級1b(1)	(1)						
スペイン語初級2a(1)	(1)						
スペイン語初級2b(1)	(1)						
ロシア語初級1a(1)	(1)						
ロシア語初級1b(1)	(1)						
ロシア語初級2a(1)	(1)						
ロシア語初級2b(1)	(1)						
インドネシア語初級1a(1)	(1)						
インドネシア語初級1b(1)	(1)						
インドネシア語初級2a(1)	(1)						
インドネシア語初級2b(1)	(1)						
コリア語初級1a(1)	(1)						
コリア語初級1b(1)	(1)						
コリア語初級2a(1)	(1)						
コリア語初級2b(1)	(1)						
基礎	ドイツ語中級1a(1)	(1)	中国語中級1a(1)	ロシア語中級1a(1)	コリア語中級1a(1)	・各科目2単位まで修得することができます。ただし、同年度に同一科目を履修することはできません。	
	ドイツ語中級1b(1)	(1)	中国語中級1b(1)	ロシア語中級1b(1)	コリア語中級1b(1)		
	ドイツ語中級2a(1)	(1)	中国語中級2a(1)	ロシア語中級2a(1)	コリア語中級2a(1)		
	ドイツ語中級2b(1)	(1)	中国語中級2b(1)	ロシア語中級2b(1)	コリア語中級2b(1)		
	フランス語中級1a(1)	(1)	スペイン語中級1a(1)	インドネシア語中級1a(1)			
	フランス語中級1b(1)	(1)	スペイン語中級1b(1)	インドネシア語中級1b(1)			
	フランス語中級2a(1)	(1)	スペイン語中級2a(1)	インドネシア語中級2a(1)			
	フランス語中級2b(1)	(1)	スペイン語中級2b(1)	インドネシア語中級2b(1)			
	ドイツ語上級1a(1)	(1)					
	ドイツ語上級1b(1)	(1)					
フランス語上級1a(1)	(1)						
フランス語上級1b(1)	(1)						
中国語上級1a(1)	(1)						
中国語上級1b(1)	(1)						
スペイン語上級1a(1)	(1)						
スペイン語上級1b(1)	(1)						
応用	選択ドイツ語1a(1)	(1)	選択スペイン語1a(1)	選択イタリア語1a(1)		・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます、合計4単位まで修得することができます。 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 ・「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。	
	選択ドイツ語1b(1)	(1)	選択スペイン語1b(1)	選択イタリア語1b(1)			
	選択フランス語1a(1)	(1)	選択ロシア語1a(1)				
	選択フランス語1b(1)	(1)	選択ロシア語1b(1)				
	選択中国語1a(1)	(1)	選択アラビア語1a(1)				
	選択中国語1b(1)	(1)	選択アラビア語1b(1)				
	世界の言語と文化(ドイツ語)	世界の言語と文化(中国語)	世界の言語と文化(ロシア語)	世界の言語と文化(コリア語)			
	世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(インドネシア語)				
	言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)				
	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)					
海外語学中期研修1(外国語)	海外語学中期研修2(外国語)	海外語学中期研修4(外国語)	海外語学中期研修7(外国語)				
海外語学中期研修2(外国語)	海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修5(外国語)	海外語学中期研修8(外国語)				
海外語学中期研修3(外国語)		海外語学中期研修6(外国語)					
単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)				
自由選択修得要件単位					備考参照	英語コミュニケーションコース: 22 英語文化コース: 34	

英語英米文学科

ネットワーク情報学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of NETWORK and INFORMATION

専修大学

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科 社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は, 単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

(2026(令和8)年度 入学用)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー キャリア入門 キャリアマッチング キャリア長期体験(プロジェクト型)				2	2	
		キャリア科目1 キャリア科目2					
	グローバルスタディ(1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ(3)	グローバルスタディ(4)			
		分野横断科目					
Si応用科目		Siゼミナール1(4)	Siゼミナール2(4)	Siゼミナール3(4)			
			Siゼミナール論文				
人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		4	4	
社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 マーケティングベーシック 企業と会計		2		
自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習1 自然科学実験演習2(4)	生物学C1 生物学C2 宇宙地球科学A1 宇宙地球科学A2 宇宙地球科学B1 宇宙地球科学B2	化学A1 化学A2 化学B1 化学B2 理学A1 理学A2	物理学B1 物理学B2 数理科学A1 数理科学A2 数理科学B1 数理科学B2	数理科学C1 数理科学C2 科学論A1 科学論A2 科学論B1 科学論B2		4
	保健体育系科目	スポーツリテラシー(1) スポーツウエルネス(1)		アドバンススポーツ スポーツ論(ウエルビーイング)	スポーツ論(サステナブルスポーツ) スポーツ論(ハイパフォーマンススポーツ)		2
英語		Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1) General English (1)					2
	English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)				
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b				
外国語科目	導入	ドイツ語初級1a(1) ドイツ語初級1b(1) ドイツ語初級2a(1) ドイツ語初級2b(1) フランス語初級1a(1) フランス語初級1b(1) フランス語初級2a(1) フランス語初級2b(1)	中国語初級1a(1) 中国語初級1b(1) 中国語初級2a(1) 中国語初級2b(1) スペイン語初級1a(1) スペイン語初級1b(1) スペイン語初級2a(1) スペイン語初級2b(1)	ロシア語初級1a(1) ロシア語初級1b(1) ロシア語初級2a(1) ロシア語初級2b(1) インドネシア語初級1a(1) インドネシア語初級1b(1) インドネシア語初級2a(1) インドネシア語初級2b(1)	コリア語初級1a(1) コリア語初級1b(1) コリア語初級2a(1) コリア語初級2b(1)		20
		基礎	ドイツ語中級1a(1) ドイツ語中級1b(1) ドイツ語中級2a(1) ドイツ語中級2b(1) フランス語中級1a(1) フランス語中級1b(1) フランス語中級2a(1) フランス語中級2b(1)	中国語中級1a(1) 中国語中級1b(1) 中国語中級2a(1) 中国語中級2b(1) スペイン語中級1a(1) スペイン語中級1b(1) スペイン語中級2a(1) スペイン語中級2b(1)	ロシア語中級1a(1) ロシア語中級1b(1) ロシア語中級2a(1) ロシア語中級2b(1) インドネシア語中級1a(1) インドネシア語中級1b(1) インドネシア語中級2a(1) インドネシア語中級2b(1)		コリア語中級1a(1) コリア語中級1b(1) コリア語中級2a(1) コリア語中級2b(1)
	応用		ドイツ語上級1a(1) ドイツ語上級1b(1) フランス語上級1a(1) フランス語上級1b(1) 中国語上級1a(1) 中国語上級1b(1) スペイン語上級1a(1) スペイン語上級1b(1)	中国語上級1a(1) 中国語上級1b(1) インドネシア語上級1a(1) インドネシア語上級1b(1)	ロシア語上級1a(1) ロシア語上級1b(1) インドネシア語上級1a(1) インドネシア語上級1b(1) コリア語上級1a(1) コリア語上級1b(1)		
			選択ドイツ語1a(1) 選択ドイツ語1b(1) 選択フランス語1a(1) 選択フランス語1b(1) 選択中国語1a(1) 選択中国語1b(1) 選択スペイン語1a(1) 選択スペイン語1b(1)	選択ロシア語1a(1) 選択ロシア語1b(1) 選択アラビア語1a(1) 選択アラビア語1b(1) 選択イタリア語1a(1) 選択イタリア語1b(1)			
	英語以外の外国語		世界の言語と文化(ドイツ語) 世界の言語と文化(フランス語)	世界の言語と文化(中国語) 世界の言語と文化(スペイン語)	世界の言語と文化(ロシア語) 世界の言語と文化(インドネシア語)	世界の言語と文化(コリア語)	
				言語文化研究(ヨーロッパ)	言語文化研究(アジア)	言語文化研究(アメリカ)	
	海外語学研修	海外語学短期研修1(外国語)	海外語学短期研修2(外国語)				
			海外語学中期研修1(外国語) 海外語学中期研修2(外国語) 海外語学中期研修3(外国語)	海外語学中期研修4(外国語) 海外語学中期研修5(外国語) 海外語学中期研修6(外国語)	海外語学中期研修7(外国語) 海外語学中期研修8(外国語)		
	単位互換科目	単位互換1	単位互換2(4)	単位互換3(1)			・修得した単位は, 自由選択修得要件単位に算入されます。 ・科目名の括弧内に示す表記が異なれば, それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。
			自由選択修得要件単位				備考欄参照 S・Dコース: 26 Cコース: 30

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Sコース)専門科目一覧(2026(令和8)年度 入学用)

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は, 単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考	
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング				20	20	
コース必修		基礎演習S(4)	情報キャリアデザイン		9		
選択必修科目	数理系基礎科目	数理リテラシー 線形代数 基礎解析			4		
	応用演習		応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用演習(フィジカルコンピューティング)(4) 応用演習(ITコンサルティング)(4)		4		
	高度演習			情報数理演習1 情報数理演習2 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2	4		
	コース別		アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 幾何学概論	情報数学1 情報数学2 人工知能入門	データ解析1 データ解析2		6
選択科目	必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】					
		情報英語基礎 国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1)	国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	ITスキル実習1(1) ITスキル実習2(1) ITスキル実習3(1)	ITスキル実習4(1) ITスキル実習5(1) ITスキル実習6(1)		
		アニメーション インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オブジェクト指向技術 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 企業情報システム 基礎演習D(4) 教育とメディア グラフィックデザイン 経営学入門1 経営学入門2 経営分析 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学) ゲームの理論	コミュニティ開発論 コンテンツ産業論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報デザイン 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数理計画法 地域とメディア データ・AI活用演習 データベース 動的モデル 認知科学 ネットワークコミュニケーション ネットワークとマーケティング パソコンアーキテクチャ	ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 ユーザインタフェース UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)			76
				We bデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 情報システム管理	政策科学 データマイニング フィールド演習 プロジェクトマネジメント 分散情報システム		
		テーマ実習1(1) テーマ実習2(1) ラボ実習1(1) ラボ実習2(1)	テーマ実習3(1) テーマ実習4(1) ラボ実習3(1) ラボ実習4(1)	テーマ実習5(1) テーマ実習6(1) ラボ実習5(1) ラボ実習6(1) 卒業演習1 卒業演習2		29	
	年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48		
	自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され, さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については, 当該課程の学修ガイドブックを参照してください。				自由選択修得要件単位	26

●2年次への進級条件:	以下の指定科目から22単位以上修得していること。 社会知性基盤科目: 専修大学入門セミナー(2単位) 自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位) 保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウエルネス(1単位) 専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)	卒業要件単位	124
●プロジェクト履修の条件:	基礎演習または応用演習のうち, 1科目以上単位を修得していること。		
●卒業見込証明書発行の条件:	3年次終了時に86単位以上修得していること。 ただし, 発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。		

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Dコース)専門科目一覧(2026(令和8)年度 入学者用)

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング				20	
コース必修		基礎演習D(4)	情報キャリアデザイン		11	
選択必修科目	数理系基礎科目				2	超過修得単位は、専門選択科目の単位に算入されます。
	応用演習	応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用演習(デジタルコンテンツ)(4) 応用演習(ITコンサルティング)(4)			4	
	コース別	オブジェクト指向技術 企業情報システム 教育とメディア グラフィックデザイン 経営分析 コミュニティ開発論	コンテンツ産業論 情報システム開発概論 情報デザイン 人工知能入門 ネットワークコミュニケーション ネットワークとマーケティング	フィジカルコンピューティング ユーザインタフェース	10	
必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】				76	超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	情報英語基礎 国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1)	国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	ITスキル実習1(1) ITスキル実習2(1) ITスキル実習3(1)	ITスキル実習4(1) ITスキル実習5(1) ITスキル実習6(1)		
選択科目		アニメーション アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 幾何学概論 基礎演習S(4) 経営学入門1 経営学入門2 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学)	ゲームの理論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報数学1 情報数学2 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数値計画法 地域とメディア データ・AI活用演習	認知科学 パソコンアーキテクチャ ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)	29	
		Webデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2 情報システム管理	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム		
年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48		
自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され、さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については、当該課程の学修ガイドブックを参照してください。				自由選択修得要件単位計	26

- 2年次への進級条件: 以下の指定科目から22単位以上修得していること。
社会知性基盤科目: 専修大学入門ゼミナール(2単位)
自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位)
保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウェルネス(1単位)
専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)
- プロジェクト履修の条件: 基礎演習または応用演習のうち、1科目以上単位を修得していること。
- 卒業見込証明書発行の条件: 3年次終了時に86単位以上修得していること。
ただし、発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。

卒業要件単位	124
--------	-----

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科(Cコース)専門科目一覧(2026(令和8)年度 入学者用)

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	備考
共通必修	情報と社会 コンピュータとネットワーク ネットワーク情報総論1 ネットワーク情報総論2 デジタルデータ基礎 情報表現演習 情報分析基礎 情報分析演習 入門プログラミング				20	
コース必修		基礎演習D(4)	情報キャリアデザイン	修了能力認定C(1)	3	
数理系基礎科目	数理リテラシー 線形代数 基礎解析				2	超過修得単位は、専門選択科目の単位に算入されます。
	演習(情報)	基礎演習S(4) 基礎演習D(4) 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用演習(コンテンツデザイン)(4) 応用演習(メディアコミュニケーション)(4) 応用演習(フィジカルコンピューティング)(4) 応用演習(ITコンサルティング)(4)	プロジェクト(4) フィールド演習 情報数理演習1 情報数理演習2	データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2	12	
演習(留学)	テーマ実習1(1) テーマ実習2(1)	テーマ実習3(1) テーマ実習4(1)	テーマ実習5(1) テーマ実習6(1) 卒業演習1 卒業演習2		4	超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	国際演習A1(1) 国際演習B1(1) 国際演習C1(1) 国際演習D1(1) 国際演習E1(1) 国際演習F1(1)	国際演習A2 国際演習B2 国際演習C2 国際演習D2 国際演習E2 国際演習F2				
必修	リテラシー演習【1年次必修】 情報英語入門【1年次必修】 プログラミングと数理【1年次必修】				72	超過修得単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
情報英語基礎 国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1) 国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	国際研修1(1) 国際研修2(1) 国際研修3(1) 国際研修4(1) 国際研修5(1) 国際研修6(1)	ITスキル実習1(1) ITスキル実習2(1) ITスキル実習3(1) ITスキル実習4(1) ITスキル実習5(1) ITスキル実習6(1)				
選択科目		アニメーション アルゴリズムとデータ構造1 アルゴリズムとデータ構造2 インターネット情報システム Webアプリケーション 映像演習応用 映像演習基礎 映像表現 応用演習(ネットワークシステム)(4) 応用演習(データサイエンス)(4) 応用プログラミング1 応用プログラミング2 応用プログラミング3 応用プログラミング4 オペレーティングシステム 会計システム(管理会計) 会計システム(財務会計) 環境防災論 幾何学概論 基礎演習S(4) 経営学入門1 経営学入門2 経済のモデル(マクロ経済学) 経済のモデル(ミクロ経済学)	ゲームの理論 サービス情報システム 財務諸表論 システムモデリング 質的調査法 シミュレーション 社会調査法 情報英語発展(情報技術1) 情報英語発展(情報技術2) 情報英語発展(情報社会1) 情報英語発展(情報社会2) 情報数学1 情報数学2 情報と法 情報リスク管理 情報理論 数学セミナー 数値計画法 地域とメディア データ・AI活用演習	認知科学 パソコンアーキテクチャ ビジネスゲーム ビジネスプロセスデザイン ファイナンスプランニング フィジカルコンピューティング開発論 プロジェクト実施技法 マーケティング メディアコンテンツ制作 メディア表現技法 メディア論 モデル分析 UNIX 留学事前教育 特殊演習 特殊演習(1) 特殊講義 特殊講義(1) 寄付講座 寄付講座(1)	29	
		Webデザイン AI応用システム 応用確率統計 学習環境のデザイン 計算理論 コンピュータサイエンス演習1 コンピュータサイエンス演習2 情報システム管理	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム	情報数理演習1 情報数理演習2 政策科学 データサイエンス演習1 データサイエンス演習2 データマイニング プロジェクトマネジメント 分散情報システム		
年間履修上限単位数(教養科目含む)	42	38	36	48		
自由選択修得要件単位	A. 卒業要件単位数を超えた以下の科目 ①社会知性基盤科目 ②教養科目、外国語科目 ③単位互換科目 ④専門科目 *卒業要件単位数を超えた選択必修科目の単位は選択科目の単位に算入され、さらに卒業要件単位数を超えた選択科目の単位は自由選択修得要件単位に算入されます。 B. 全学公開科目 C. 資格課程科目の一部の科目 *資格課程科目については、当該課程の学修ガイドブックを参照してください。				自由選択修得要件単位計	30

- 2年次への進級条件: 以下の指定科目から22単位以上修得していること。
社会知性基盤科目: 専修大学入門ゼミナール(2単位)
自然科学系科目: あなたと自然科学(2単位)
保健体育系科目: スポーツリテラシー(1単位), スポーツウェルネス(1単位)
専門科目: 必修科目(9科目18単位), 選択必修科目の数理系基礎科目(3科目6単位の中から2単位のみ充当), リテラシー演習(2単位), 情報英語入門(2単位), プログラミングと数理(2単位)
- プロジェクト履修の条件: 基礎演習または応用演習のうち、1科目以上単位を修得していること。
- 卒業見込証明書発行の条件: 3年次終了時に86単位以上修得していること。
ただし、発行条件を満たしていない場合でも前年度GPAが2.0以上であれば窓口での申請をもって発行ができる。

卒業要件単位	124
--------	-----

人間科学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of HUMAN SCIENCES

専修大学

人間科学部心理学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考			
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー データサイエンス入門 データサイエンス実践					<ul style="list-style-type: none"> 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を履修し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合は作成 (履修) することができます。 			
		A I 基礎							
		データサイエンス活用演習							
	キャリア入門								
	キャリアマッチング								
	キャリア長期体験 (プロジェクト型)								
		キャリア科目1							
		キャリア科目2							
	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)					
	S i応用科目	分野横断科目							
	S iゼミナール1 (4)	S iゼミナール2 (4)	S iゼミナール3 (4)						
		S iゼミナール論文							
教 養 科 目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 哲学 倫理学 論理学入門 とばと論理	芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代		<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位 10 単位を超えて履修した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を履修していなければ、履修することができません。 アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修目にかかわらず履修することができます (修得単位の上限はありません)。 			
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 経済と社会 現代の経済	地理学への招待 社会学入門 現代の社会学 社会学論 社会思想 教育学入門	子どもと社会の教育学 情報社会 はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計					
	自然科学系科目	あなたと自然科学 自然科学実験演習 1 自然科学実験演習 2 (4)	生物科学 C 1 生物科学 C 2 宇宙地球科学 A 1 宇宙地球科学 A 2 宇宙地球科学 B 1 宇宙地球科学 B 2	化学 A 1 化学 A 2 化学 B 1 化学 B 2 物理学 A 1 物理学 A 2	物理学 B 1 物理学 B 2 数理科学 A 1 数理科学 A 2 数理科学 B 1 数理科学 B 2		数理科学 C 1 数理科学 C 2 科学論 A 1 科学論 A 2 科学論 B 1 科学論 B 2		
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)					2		
			アドバンススポーツ スポーツ論 (ウェルビーイング)	スポーツ論 (サステナブルスポーツ) スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)					
	英 語	A Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)	Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)	General English (1)				4	
		English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)					
			Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b					
		外 国 語 科 目	ドイツ語初級 1 a (1) ドイツ語初級 1 b (1) ドイツ語初級 2 a (1) ドイツ語初級 2 b (1) フランス語初級 1 a (1) フランス語初級 1 b (1) フランス語初級 2 a (1) フランス語初級 2 b (1) 中国語初級 1 a (1) 中国語初級 1 b (1) 中国語初級 2 a (1) 中国語初級 2 b (1) スペイン語初級 1 a (1) スペイン語初級 1 b (1) スペイン語初級 2 a (1) スペイン語初級 2 b (1) ロシア語初級 1 a (1) ロシア語初級 1 b (1) ロシア語初級 2 a (1) ロシア語初級 2 b (1) インドネシア語初級 1 a (1) インドネシア語初級 1 b (1) インドネシア語初級 2 a (1) インドネシア語初級 2 b (1) コリア語初級 1 a (1) コリア語初級 1 b (1) コリア語初級 2 a (1) コリア語初級 2 b (1)						4
				ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)					
	ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)								
			ドイツ語上級 1 a (1) ドイツ語上級 1 b (1) フランス語上級 1 a (1) フランス語上級 1 b (1) 中国語上級 1 a (1) 中国語上級 1 b (1) スペイン語上級 1 a (1) スペイン語上級 1 b (1)	ロシア語上級 1 a (1) ロシア語上級 1 b (1) インドネシア語上級 1 a (1) インドネシア語上級 1 b (1) コリア語上級 1 a (1) コリア語上級 1 b (1)		8			
英語以外の外国語			ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)						
			ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)						
				ドイツ語上級 1 a (1) ドイツ語上級 1 b (1) フランス語上級 1 a (1) フランス語上級 1 b (1) 中国語上級 1 a (1) 中国語上級 1 b (1) スペイン語上級 1 a (1) スペイン語上級 1 b (1)	ロシア語上級 1 a (1) ロシア語上級 1 b (1) インドネシア語上級 1 a (1) インドネシア語上級 1 b (1) コリア語上級 1 a (1) コリア語上級 1 b (1)				
			選択ドイツ語 1 a (1) 選択ドイツ語 1 b (1) 選択フランス語 1 a (1) 選択フランス語 1 b (1) 選択中国語 1 a (1) 選択中国語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1) 選択スペイン語 1 b (1) 選択ロシア語 1 a (1) 選択ロシア語 1 b (1) 選択アラビア語 1 a (1) 選択アラビア語 1 b (1)	選択イタリア語 1 a (1) 選択イタリア語 1 b (1)				
	世界の言語と文化 (ドイツ語) 世界の言語と文化 (フランス語)		世界の言語と文化 (中国語) 世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (ロシア語) 世界の言語と文化 (インドネシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)				
	言語文化研究 (ヨーロッパ)			言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)				
海外語学研修	海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)				<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合に短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合に短期研修2に認定されます。 海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合に認定されます。 			
	海外語学中期研修 1 (外国語) 海外語学中期研修 2 (外国語) 海外語学中期研修 3 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語) 海外語学中期研修 5 (外国語) 海外語学中期研修 6 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語) 海外語学中期研修 8 (外国語)						
単位互換科目	単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)			<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 			
自由選択修得要件単位					22				

心理学

人間科学部社会科学 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業要件単位	備考
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー				2	<ul style="list-style-type: none"> 分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同年度での複数履修も可能)。 S iゼミナール論文は、S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成 (履修) することができます。
	データサイエンス入門					
	データサイエンス実践					
		A 1基礎				
		データサイエンス活用演習				
	キャリア入門					
	キャリアマッチング					
	キャリア長期体験 (プロジェクト型)					
		キャリア科目1				
		キャリア科目2				
S i応用科目	グローバルスタディ (1)	グローバルスタディ	グローバルスタディ (3)	グローバルスタディ (4)		
人文科学基礎科目	日本の文化	歴史と地域・民衆	論理学入門			<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件単位 10 単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修にかかわらず履修することができます (修得単位の上限はありません)。
	日本の文学	歴史と社会・文化	ことばと論理			
	世界の文学	基礎心理学入門	芸術学入門			
	文学と現代世界	応用心理学入門	異文化理解の人類学			
	英語圏文学への招待	哲学	ジャーナリズムと現代			
	歴史の視座	倫理学				
	日本国憲法	地理学への招待	はじめての経営			
	法と社会	社会科学論	マーケティングベーシックス			
	政治学入門	社会思想	企業と会計			
	政治の世界	教育学入門				
経済と社会	子どもと社会の教育学					
現代の経済	情報社会					
自然科学系科目	あなたと自然科学					
	自然科学実験演習 1	生物科学C 1	化学A 1	物理学B 1	数理学C 1	
	自然科学実験演習 2 (4)	生物科学C 2	化学A 2	物理学B 2	数理学C 2	
	生物科学A 1	宇宙地球科学A 1	化学B 1	数理学A 1	科学論A 1	
	生物科学A 2	宇宙地球科学A 2	化学B 2	数理学A 2	科学論A 2	
	生物科学B 1	宇宙地球科学B 1	物理学A 1	数理学B 1	科学論B 1	
	生物科学B 2	宇宙地球科学B 2	物理学A 2	数理学B 2	科学論B 2	
	スポーツリテラシー (1)					
	スポーツウェルネス (1)					
		アドバンストスポーツ	スポーツ論 (サステイナブルスポーツ)	スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ)		
英語	Basics of English (RL) 1a (1)					<ul style="list-style-type: none"> General Englishは、英語「A・B群」を履修した上で、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 English Speaking a・b、Advanced English a・b、English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 同一言語の科目を全て(4科目4単位)履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。 各科目2単位まで修得することができます。ただし、同年度に同一科目を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	Basics of English (RL) 1b (1)					
	または					
	群 Intermediate English (RL) 1a (1)					
	Intermediate English (RL) 1b (1)					
	Basics of English (SW) 1a (1)					
	Basics of English (SW) 1b (1)					
	または					
	群 Intermediate English (SW) 1a (1)					
	Intermediate English (SW) 1b (1)					
	General English (1)					
English Speaking a (1)	Computer Aided Instruction a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1)			
English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)			
	Advanced English a	English Presentation a	English Presentation a			
	Advanced English b	English Presentation b	English Presentation b			
	English Language and Cultures a	English Writing a	English Writing a			
	English Language and Cultures b	English Writing b	English Writing b			
外国語科目	ドイツ語初級1 a (1)					<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	ドイツ語初級1 b (1)					
	ドイツ語初級2 a (1)					
	ドイツ語初級2 b (1)					
	フランス語初級1 a (1)					
	フランス語初級1 b (1)					
	フランス語初級2 a (1)					
	フランス語初級2 b (1)					
	中国語初級1 a (1)					
	中国語初級1 b (1)					
中国語初級2 a (1)						
中国語初級2 b (1)						
スペイン語初級1 a (1)						
スペイン語初級1 b (1)						
スペイン語初級2 a (1)						
スペイン語初級2 b (1)						
ロシア語初級1 a (1)						
ロシア語初級1 b (1)						
ロシア語初級2 a (1)						
ロシア語初級2 b (1)						
インドネシア語初級1 a (1)						
インドネシア語初級1 b (1)						
インドネシア語初級2 a (1)						
インドネシア語初級2 b (1)						
コリア語初級1 a (1)						
コリア語初級1 b (1)						
コリア語初級2 a (1)						
コリア語初級2 b (1)						
英語以外の外国語	ドイツ語中級1 a (1)	中国語中級1 a (1)	ロシア語中級1 a (1)	コリア語中級1 a (1)		<ul style="list-style-type: none"> 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 各科目、同年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 選択1a・bを履修する場合には、同一言語の選択1a・bをセットで履修してください。 「導入」と選択1a・bの両者を履修する場合は、同一言語を履修することはできません。 修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	ドイツ語中級1 b (1)	中国語中級1 b (1)	ロシア語中級1 b (1)	コリア語中級1 b (1)		
	ドイツ語中級2 a (1)	中国語中級2 a (1)	ロシア語中級2 a (1)	コリア語中級2 a (1)		
	ドイツ語中級2 b (1)	中国語中級2 b (1)	ロシア語中級2 b (1)	コリア語中級2 b (1)		
	フランス語中級1 a (1)	スペイン語中級1 a (1)	インドネシア語中級1 a (1)			
	フランス語中級1 b (1)	スペイン語中級1 b (1)	インドネシア語中級1 b (1)			
	フランス語中級2 a (1)	スペイン語中級2 a (1)	インドネシア語中級2 a (1)			
	フランス語中級2 b (1)	スペイン語中級2 b (1)	インドネシア語中級2 b (1)			
		ドイツ語上級1 a (1)	ロシア語上級1 a (1)	コリア語上級1 a (1)		
		ドイツ語上級1 b (1)	ロシア語上級1 b (1)	コリア語上級1 b (1)		
	フランス語上級1 a (1)	インドネシア語上級1 a (1)				
	フランス語上級1 b (1)	インドネシア語上級1 b (1)				
	中国語上級1 a (1)	コリア語上級1 a (1)				
	中国語上級1 b (1)	コリア語上級1 b (1)				
	スペイン語上級1 a (1)					
	スペイン語上級1 b (1)					
	選択ドイツ語1 a (1)	選択スペイン語1 a (1)	選択イタリア語1 a (1)			
	選択ドイツ語1 b (1)	選択スペイン語1 b (1)	選択イタリア語1 b (1)			
	選択フランス語1 a (1)	選択ロシア語1 a (1)				
	選択フランス語1 b (1)	選択ロシア語1 b (1)				
	選択中国語1 a (1)	選択アラビア語1 a (1)				
	選択中国語1 b (1)	選択アラビア語1 b (1)				
世界の言語と文化 (ドイツ語)	世界の言語と文化 (中国語)	世界の言語と文化 (ロシア語)	世界の言語と文化 (コリア語)			
世界の言語と文化 (フランス語)	世界の言語と文化 (スペイン語)	世界の言語と文化 (インドネシア語)				
	言語文化研究 (ヨーロッパ)	言語文化研究 (アジア)	言語文化研究 (アメリカ)			
海外語学短期研修 1 (外国語)	海外語学短期研修 2 (外国語)					
	海外語学中期研修 1 (外国語)	海外語学中期研修 4 (外国語)	海外語学中期研修 7 (外国語)			
	海外語学中期研修 2 (外国語)	海外語学中期研修 5 (外国語)	海外語学中期研修 8 (外国語)			
	海外語学中期研修 3 (外国語)	海外語学中期研修 6 (外国語)				
単位互換科目	単位互換 1	単位互換 2 (4)	単位互換 3 (1)			
	自由選択修得要件単位				20	

社会科学

国際コミュニケーション学部

学修ガイドブック

2026

SCHOOL of INTERNATIONAL COMMUNICATION

専修大学

国際コミュニケーション学部日本語学科 社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覽

○：必修 ◎：選択必修 △：選択 ▲：必修履

※科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）。

区分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考	
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー ▲					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができますが、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・S iゼミナル論文は、S iゼミナルの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナルを履修する場合に作成（履修）することができます。 	
	データサイエンス入門 ▲						
	データサイエンス実践 △						
		A I 基礎 △					
	キャリア入門 △	データサイエンス活用演習 △					
	キャリアマッチング △						
	キャリア長期体験（プロジェクト型） △						
		キャリア科目1 △					
		キャリア科目2 △					
		グローバルスタディ (1) △	グローバルスタディ △	グローバルスタディ (3) △	グローバルスタディ (4) △		
S i 応用科目		分野横断科目 △					
		S iゼミナル1 (4) △	S iゼミナル2 (4) △	S iゼミナル3 (4) △			
教養科目	人文科学基礎科目	歴史の視点 △ 倫理学 △ 基礎心理学入門 △ 応用心理学入門 △ 哲学 △	ジャーナリズムと現代 △			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンストスポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウォルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンストスポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も種目にかかわらず履修することができます（修得単位の上限はありません）。 	
	社会科学基礎科目	日本国憲法 △ 法と社会 △ 政治の世界 △ 経済と社会 △ 現代の経済 △	地理学の招待 △ 社会学入門 △ 現代の社会学 △ 社会科学論 △ 社会思想 △ 教育学入門 △	子どもと社会の教育学 △ 情報社会 △ ばじめでの経営 △ マーケティングベーシックス △ 企業と会計 △			
	自然科学系科目	あなたと自然科学 ▲					
	生物科学系科目	生物科学A 1 △	宇宙地球科学A 1 △	化学B 1 △	数理学A 1 △		科学論A 1 △
		生物科学A 2 △	宇宙地球科学A 2 △	化学B 2 △	数理学A 2 △		科学論A 2 △
	生物科学系科目	生物科学B 1 △	宇宙地球科学B 1 △	物理学A 1 △	数理学B 1 △		科学論B 1 △
		生物科学B 2 △	宇宙地球科学B 2 △	物理学A 2 △	数理学B 2 △		科学論B 2 △
	生物科学系科目	生物科学C 1 △	化学A 1 △	物理学B 1 △	数理学C 1 △		
		生物科学C 2 △	化学A 2 △	物理学B 2 △	数理学C 2 △		
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) ◎					
スポーツウォルネス (1) ◎							
英語	A 群	Basics of English (RL) 1a (1) ◎				<ul style="list-style-type: none"> ・General Englishは、英語「A・B群」を履修したうえで、単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 	
		Basics of English (RL) 1b (1) ◎					
	B 群	Intermediate English (RL) 1a (1) ◎					
		Intermediate English (RL) 1b (1) ◎					
	General English (1) ◎						
	English Speaking a (1) △	Computer Aided Instruction a (1) △	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) △				
		English Speaking b (1) △	Computer Aided Instruction b (1) △	Computer Aided Instruction for TOEIC b (1) △			
	Advanced English a △	Advanced English b △	English Presentation a △	English Presentation b △			
		English Language and Cultures a △	English Language and Cultures b △	English Writing a △	English Writing b △		
外国語科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級1 a (1) ◎				<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で英語以外の外国語「導入」から同一言語の初級1 a・bと初級2 a・bを履修しなければなりません。 ・同一言語の科目をすべて（4科目4単位）履修している、あるいは履修している場合、他の言語を履修することはできません。 	
		ドイツ語初級1 b (1) ◎					
		ドイツ語初級2 a (1) ◎					
		ドイツ語初級2 b (1) ◎					
		フランス語初級1 a (1) ◎					
		フランス語初級1 b (1) ◎					
		フランス語初級2 a (1) ◎					
		フランス語初級2 b (1) ◎					
		中国語初級1 a (1) ◎					
		中国語初級1 b (1) ◎					
基礎	ドイツ語中級1 a (1) △	中国語中級1 a (1) △	ロシア語中級1 a (1) △	インドネシア語中級1 a (1) △			
	ドイツ語中級1 b (1) △	中国語中級1 b (1) △	ロシア語中級1 b (1) △	インドネシア語中級1 b (1) △			
	ドイツ語中級2 a (1) △	中国語中級2 a (1) △	ロシア語中級2 a (1) △	インドネシア語中級2 a (1) △			
	ドイツ語中級2 b (1) △	中国語中級2 b (1) △	ロシア語中級2 b (1) △	インドネシア語中級2 b (1) △			
	フランス語中級1 a (1) △	スペイン語中級1 a (1) △	インドネシア語中級1 a (1) △	インドネシア語中級1 b (1) △			
	フランス語中級1 b (1) △	スペイン語中級1 b (1) △	インドネシア語中級1 b (1) △	インドネシア語中級2 a (1) △			
	フランス語中級2 a (1) △	スペイン語中級2 a (1) △	インドネシア語中級2 a (1) △	インドネシア語中級2 b (1) △			
	フランス語中級2 b (1) △	スペイン語中級2 b (1) △	インドネシア語中級2 b (1) △				
	ドイツ語上級1 a (1) △	中国語上級1 a (1) △	ロシア語上級1 a (1) △	インドネシア語上級1 a (1) △			
	ドイツ語上級1 b (1) △	中国語上級1 b (1) △	ロシア語上級1 b (1) △	インドネシア語上級1 b (1) △			
応用	フランス語上級1 a (1) △	中国語上級1 a (1) △	ロシア語上級1 a (1) △	インドネシア語上級1 a (1) △			
	フランス語上級1 b (1) △	中国語上級1 b (1) △	ロシア語上級1 b (1) △	インドネシア語上級1 b (1) △			
	中国語上級1 a (1) △	中国語上級1 a (1) △	ロシア語上級1 a (1) △	インドネシア語上級1 a (1) △			
	中国語上級1 b (1) △	中国語上級1 b (1) △	ロシア語上級1 b (1) △	インドネシア語上級1 b (1) △			
	スペイン語上級1 a (1) △	スペイン語上級1 a (1) △	ロシア語上級1 a (1) △	インドネシア語上級1 a (1) △			
	スペイン語上級1 b (1) △	スペイン語上級1 b (1) △	ロシア語上級1 b (1) △	インドネシア語上級1 b (1) △			
	ドイツ語上級2 a (1) △	中国語上級2 a (1) △	ロシア語上級2 a (1) △	インドネシア語上級2 a (1) △			
	ドイツ語上級2 b (1) △	中国語上級2 b (1) △	ロシア語上級2 b (1) △	インドネシア語上級2 b (1) △			
	フランス語上級2 a (1) △	スペイン語上級2 a (1) △	ロシア語上級2 a (1) △	インドネシア語上級2 a (1) △			
	フランス語上級2 b (1) △	スペイン語上級2 b (1) △	ロシア語上級2 b (1) △	インドネシア語上級2 b (1) △			
海外語学研修	選択ドイツ語1 a (1) △	選択ドイツ語1 b (1) △	選択フランス語1 a (1) △	選択フランス語1 b (1) △			
	選択中国語1 a (1) △	選択中国語1 b (1) △	選択ロシア語1 a (1) △	選択ロシア語1 b (1) △			
	選択インドネシア語1 a (1) △	選択インドネシア語1 b (1) △	選択スペイン語1 a (1) △	選択スペイン語1 b (1) △			
	世界の言語と文化（ドイツ語） △	世界の言語と文化（中国語） △	世界の言語と文化（ロシア語） △	世界の言語と文化（コリア語） △			
	世界の言語と文化（フランス語） △	世界の言語と文化（スペイン語） △	世界の言語と文化（インドネシア語） △				
	言語文化研究（ヨーロッパ） △	言語文化研究（アジア） △	言語文化研究（アメリカ） △				
	海外語学短期研修1（外国語） △	海外語学短期研修2（外国語） △					
	海外語学中期研修1（外国語） △	海外語学中期研修2（外国語） △	海外語学中期研修3（外国語） △	海外語学中期研修4（外国語） △			
	海外語学中期研修5（外国語） △	海外語学中期研修6（外国語） △	海外語学中期研修7（外国語） △	海外語学中期研修8（外国語） △			
	単位互換科目	単位互換1 △	単位互換2 (4) △	単位互換3 (1) △			

自由選択修得要件単位

32

国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科

社会知性基盤科目, 教養科目, 外国語科目, 単位互換科目一覧

○: 必修 ◎: 選択必修 △: 選択 ▲: 必修履

※科目名の後ろに記載されている () 内の数字は、単位数を示す (記載のない科目は2単位)。

区分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考		
社会知性基盤科目	専修大学入門セミナー [▲]					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・グローバルスタディは、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができ、括弧が付されていない場合には、担当教員が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 ・分野横断科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます (同一年度での複数履修も可能)。 ・S iゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員のS iゼミナールを履修する場合に作成 (履修) することができます。 		
	データ分析入門 [▲]							
	データサイエンス入門 [▲]							
	データサイエンス実践 [△]							
		A i基礎 [△]						
		データサイエンス活用演習 [△]						
	キャリア入門 [△]							
	キャリアマッピング [△]							
	キャリア長期体験 (プロジェクト型) [△]							
		キャリア科目1 [△]						
	キャリア科目2 [△]							
	グローバルスタディ (1) [△]	グローバルスタディ [△]	グローバルスタディ (3) [△]	グローバルスタディ (4) [△]				
S i応用科目		分野横断科目 [△]						
		S iゼミナール1 (4) [△]	S iゼミナール2 (4) [△]	S iゼミナール3 (4) [△]				
			S iゼミナール論文 [△]					
教養科目	人文科学基礎科目	日本の文学 [△] 哲学 [△] 歴史の視点 [△] 倫理学 [△] 基礎心理学入門 [△] 応用心理学入門 [△]	芸術学入門 [△] ジャーナリズムと現代 [△]			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件単位10単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していない場合は、履修することができません。 ・アドバンススポーツの履修は、半期1科目を上限とし、次学期以降も履修することができます (修得単位の上限はありません)。 		
	社会科学基礎科目	日本国憲法 [△] 法と社会 [△] 政治学入門 [△] 経済と社会 [△] 現代の経済 [△]	地理学への招待 [△] 社会学入門 [△] 現代の社会学 [△] 社会学論 [△] 社会思想 [△] 教育学入門 [△]	子どもと社会の教育学 [△] 情報社会 [△] はじめての経営 [△] マーケティングパーシックス [△] 企業と会計 [△]				
	自然科学系科目	あなたと自然科学 [▲]						
		生物科学A1 [△] 生物科学A2 [△] 生物科学B1 [△] 生物科学B2 [△] 生物科学C1 [△] 生物科学C2 [△]	宇宙地球科学A1 [△] 宇宙地球科学A2 [△] 宇宙地球科学B1 [△] 宇宙地球科学B2 [△] 化学A1 [△] 化学A2 [△]	化学B1 [△] 化学B2 [△] 物理学A1 [△] 物理学A2 [△] 物理学B1 [△] 物理学B2 [△]	数理学A1 [△] 数理学A2 [△] 数理学B1 [△] 数理学B2 [△] 数理学C1 [△] 数理学C2 [△]		科学論A1 [△] 科学論A2 [△] 科学論B1 [△] 科学論B2 [△]	
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) [○] スポーツウェルネス (1) [○]						
			アドバンススポーツ [○] スポーツ論 (ウェルビーイング) [○]	スポーツ論 (サステイナブルスポーツ) [○] スポーツ論 (ハイパフォーマンススポーツ) [○]				
	英語		Advanced English a [△] Advanced English b [△]	English Language and Cultures a [△] English Language and Cultures b [△]				
	外国語科目	導 入	ロシア語初級1 a (1) [△] ロシア語初級1 b (1) [△] ロシア語初級2 a (1) [△] ロシア語初級2 b (1) [△] インドネシア語初級1 a (1) [△] インドネシア語初級1 b (1) [△] インドネシア語初級2 a (1) [△] インドネシア語初級2 b (1) [△]					<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・Advanced English a・b, English Language and Cultures a・bは、各科目4単位まで修得することができます。 ・「基礎」の各科目は、2単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 ・「応用」の各科目は、同一年度に2単位、年度を超えてさらに2単位履修することができます。合計4単位まで修得することができます。 ・選択1 a・bを履修する場合には、同一言語の選択1 a・bをセットで履修してください。 ・海外語学短期研修は、夏期留学プログラムを修了した場合は短期研修1に、春期留学プログラムを修了した場合は短期研修2に認定されます。 ・海外語学中期研修は、中期留学プログラムを修了した場合は認定されます。
		基 礎		ロシア語中級1 a (1) [△] ロシア語中級1 b (1) [△] ロシア語中級2 a (1) [△] ロシア語中級2 b (1) [△] インドネシア語中級1 a (1) [△] インドネシア語中級1 b (1) [△] インドネシア語中級2 a (1) [△] インドネシア語中級2 b (1) [△]				
		応 用			ロシア語上級1 a (1) [△] ロシア語上級1 b (1) [△] インドネシア語上級1 a (1) [△] インドネシア語上級1 b (1) [△]			
			選択ドイツ語1 a (1) [△] 選択ドイツ語1 b (1) [△] 選択フランス語1 a (1) [△] 選択フランス語1 b (1) [△] 選択中国語1 a (1) [△] 選択中国語1 b (1) [△]	選択スペイン語1 a (1) [△] 選択スペイン語1 b (1) [△] 選択ロシア語1 a (1) [△] 選択ロシア語1 b (1) [△] 選択イタリア語1 a (1) [△] 選択イタリア語1 b (1) [△]				
海外語学研修		海外語学短期研修1 (外国語) [△] 海外語学短期研修2 (外国語) [△]	海外語学中期研修1 (外国語) [△] 海外語学中期研修2 (外国語) [△] 海外語学中期研修3 (外国語) [△]	海外語学中期研修4 (外国語) [△] 海外語学中期研修5 (外国語) [△] 海外語学中期研修6 (外国語) [△]	海外語学中期研修7 (外国語) [△] 海外語学中期研修8 (外国語) [△]			
単位互換科目		単位互換1 [△] 単位互換2 (4) [△] 単位互換3 (1) [△]						

自由選択修得要件単位	25
------------	----

専修大学 Siデータサイエンス教育プログラム（基礎リテラシーレベル）【取組概要】

目的

ビッグデータやAIによって駆動される現代の情報化社会に変化について理解し、基礎的な情報処理・データ分析能力・情報倫理を身に付けることが、本教育プログラムの第一の目的です。
 その上で、各学部教育および全学部教育を通して、データサイエンスの知見も駆使できる人材を育成することを目指します。

対象

全学部全学科（2022年度以降入学者）

周知方法・取組



新入生向けパンフレットの配布



本学Webサイトでの情報発信



in Campus（授業支援システム）のアンケート機能を利用した自己点検

修了要件（2026年度以降入学者）

○必修

学部	学科	科目	単位数	必修・選択必修	修了要件
経済	現代経済	データサイエンス入門	2	○	2単位修得
	生活環境経済				
	国際経済				
法	法律	データサイエンス入門	2	○	2単位修得
	政治	政治データ分析入門Ⅰ 政治データ分析入門Ⅱ	各2	○	4単位修得
経営	経営	情報処理入門	各2	○	6単位修得
		情報システム入門			
	ビジネスデザイン	統計入門			
商	マーケティング	情報基礎Ⅰ	2	○	2単位修得
	会計				
文	日本文学文化	データサイエンス入門	2	○	2単位修得
	英語英米				
	哲				
	歴史				
	環境地理				
	ジャーナリズム				
ネットワーク情報	ネットワーク情報	情報分析基礎 情報分析演習 ネットワーク情報総論 1	各2	○	6単位修得
人間科	心理	データサイエンス入門	2	○	2単位修得
	社会				
国際コミュニケーション	日本語	データサイエンス入門	2	○	2単位修得
	異文化				
	コミュニケーション				